

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 20 期(2019 年 7 月～2020 年 6 月)通常総会
議案書

- ・第 1 号議案 第 19 期(2018 年 7 月～2019 年 6 月)事業報告
- ・第 2 号議案 第 19 期(2018 年 7 月～2019 年 6 月)決算報告
- ・第 3 号議案 第 20 期(2019 年 7 月～2020 年 6 月)事業計画
- ・第 4 号議案 第 20 期(2019 年 7 月～2020 年 6 月)予算
- ・第 5 号議案 役員改選

日時:2019 年 8 月 25 日(日)16:00～17:30

場所:はまどま(横浜市南区宿町 2-40-119)

第1号議案 第19期事業報告（2018年7月～2019年6月）

第19期は、主催事業への参加者数が全体で2,569名と過去最高を記録した（第17期2,111名→第18期2,241名）。内訳をみると、「NORAの山仕事」「もったいないから竹細工」の参加者が大きく増加しており、この2事業の押し上げ要因が効いている。「NORAの山仕事」の参加者には、「里山保全ボランティアの安全技能研修」の受講者も多く、参加人数の増加だけではなく里山保全を図るうえでの質的な向上も図ることができた。「もったいないから竹細工」については、希望者に対して受入可能な人数が少なかったので開催回数を増やしたところ、参加者数が急増した。「竹を活かす山仕事」と合わせて、竹細工関連の自主事業は参加費収入による自立的な運営の軌道に乗ってきた。

「はまどまプロジェクト」については、持続的な運営を旨とするには運営体制の改善や施設的な改修が必要という認識から、昨年から改革を進めてきた。多くの関係者の支援をいただきつつ、「はまどま寄り合い」の議論を受けて、第19期中に「はまどま」を地域に開くための第1期改修工事を完了した。しかし、まだ途中段階であるので、次の改修工事に向けた検討を進めるとともに、定期的な「はまどまオープン」を通して、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所としての認知度を高め、「街なかの里山の入口」としての機能を高めていきたい。

財務的には、自主事業収入や受託事業収入などが予算よりも増え、収支では5期連続で黒字となり、中長期的な目標に向けて投資できる体力が蓄えられてきた。一方、運営スタッフの平均年齢が高まっており、世代交代を図るための具体的な実施計画が必要となっている。あらためて、中長期的なビジョンを考え、次の事業段階（サードステージ）へと踏み込む時期を迎えていると言えよう。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業（協力：プルデンシャル生命保険株式会社）

1) NORAの山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）において、「森の中で憩える空間」づくりを継続的におこなっている。第19期は10月に襲来した台風24号による被害木の除伐作業に追われた1年だった。

毎月第2・第4日曜日の定例活動への参加者数は、のべ311名（昨期211名）と大幅に増え、それ以外に補足的に林内を整備する「やま守り編」の参加者は、のべ80名（昨期77名）で昨期並みだった。

2月には、若葉台第3住宅管理組合の依頼により、集合住宅の敷地内にある樹木の伐採作業を請け負うことができた。その後、同組合より年4回（3月・6月・11月・1月）の植栽管理業務も請け負うことになり、平日のうち1日を活動メンバー4～5名で作業をおこない、第2定例活動日の午前中にメンバー十数名で残務作業や剪定ゴミの搬出作業などを実施している。このほか、3月24日（日）には、間伐材を活用したワークショップを実施するために、家具職人を招いてサンプル作りもおこなった。

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|---------|---------------------------|-----|------|
| 7/8（日） | 間伐材の移積、製材、人力除草 | 14 | 1 |
| 7/22（日） | 間伐材の移積、製材、人力除草、皮むき | 13 | 1 |
| 8/12（日） | 機械除草、焼き丸太作り | 8 | 1 |
| 8/26（日） | 機械除草 | 3 | 1 |
| 9/9（日） | 資材置き場シート張り 掛かり木除伐 丸太の皮むき | 6 | 1 |
| 9/23（日） | 腐食材の移積、人力除草（苗場&隣地）、丸太の皮むき | 17 | 1 |

| | | | |
|-----------|------------------------------|----|---|
| 10/14 (日) | 風倒木の除伐 | 10 | 1 |
| 10/28 (日) | 製材、丸太の積み直し、皮むき | 4 | 1 |
| 11/11 (日) | 台風被害木の処理 (林内&竹林) | 13 | 1 |
| 11/25 (日) | 台風被害木の処理、皮むき、間伐材の玉切り | 11 | 1 |
| 12/9 (日) | 遊歩道の延伸、常緑樹の除伐 | 11 | 1 |
| 12/23 (日) | 遊歩道の延伸、台風被害木の除伐、常緑樹の除伐 | 9 | 1 |
| 1/13 (日) | 被害木の除伐、針葉樹の間伐、常緑樹の除伐、薪材収集&搬出 | 18 | 1 |
| 1/27 (日) | 被害木の除伐、針葉樹の間伐、遊歩道へ階段施工 | 11 | 1 |
| 2/10 (日) | 腐食材&間伐材の移積、安全講習 | 21 | 1 |
| 2/24 (日) | 被害木の除伐、運材、人力除草、皮むき、若葉台団地台場切り | 13 | 1 |
| 3/10 (日) | 被害木除伐 (竹林)、製材、土ふるい (苗場) | 12 | 1 |
| 3/24 (日) | 被害木の除伐、製材、運材、間伐材 WS 準備 | 16 | 1 |
| 4/14 (日) | 安全講習、丸太の皮むき | 18 | 1 |
| 4/28 (日) | 若葉台植栽、皮むき、倉庫整理、薪材結束&玉切り、竹材加工 | 13 | 1 |
| 5/14 (日) | チェーンソー講習、丸太の皮むき、苗場の草取り | 14 | 1 |
| 5/26 (日) | 薪材加工・集積、カブトムシの幼虫捕獲 | 11 | 1 |
| 6/9 (日) | 枯木掛かり木調査、ロープワーク研修 | 11 | 1 |
| 6/23 (日) | 若葉台植栽管理、機械除草 (間伐エリア)、薪材加工 | 10 | 1 |

287

24

【やま守り編】

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|-----------|------------------------------|-----|------|
| 7/1 (日) | 間伐材の移積、製材、人力除草 | 2 | 1 |
| 8/5 (日) | 間伐材の移積、製材、人力除草、皮むき | 1 | 1 |
| 9/12 (木) | 機械除草、焼き丸太作り | 1 | 1 |
| 9/30 (日) | 機械除草 | 0 | 1 |
| 10/4 (木) | 資材置き場シート張り、掛かり木除伐、丸太の皮むき | 16 | 5 |
| 10/10 (水) | 腐食材の移積、人力除草 (苗場&隣地)、丸太の皮むき | 1 | 1 |
| 11/3 (土) | 風倒木の除伐 | 0 | 1 |
| 12/1 (土) | 製材、丸太の積み直し、皮むき | 1 | 1 |
| 12/25 (火) | 台風被害木の処理 (林内&竹林) | 1 | 1 |
| 1/30 (水) | 台風被害木の処理、皮むき、間伐材の玉切り | 1 | 1 |
| 2/16 (土) | 遊歩道の延伸、常緑樹の除伐 | 3 | 1 |
| 3/2 (土) | 遊歩道の延伸、台風被害木の除伐、常緑樹の除伐 | 1 | 1 |
| 3/15 (金) | 被害木の除伐、針葉樹の間伐、常緑樹の除伐、薪材収集&搬出 | 5 | 1 |
| 3/18 (月) | 被害木の除伐、針葉樹の間伐、遊歩道へ階段施工 | 0 | 1 |

| | | | |
|----------|------------------------------|----|---|
| 3/20 (水) | 腐食材&間伐材の移積、安全講習 | 3 | 1 |
| 4/6 (土) | 被害木の除伐、運材、人力除草、皮むき、若葉台団地台場切り | 0 | 1 |
| 4/29 (月) | 被害木除伐 (竹林)、製材、土ふるい (苗場) | 3 | 1 |
| 5/2 (木祝) | 被害木の除伐、製材、運材、間伐材 WS 準備 | 10 | 1 |
| 5/4 (土) | 安全講習、丸太の皮むき | 1 | 1 |
| 5/6 (月祝) | 若葉台植栽、皮むき、倉庫整理、薪材結束&玉切り、竹材加工 | 4 | 1 |
| 6/2 (日) | チェーンソー講習、丸太の皮むき、苗場の草取り | 1 | 1 |

55 25

2) 竹を活かす山仕事 (セブンイレブン記念財団 2018 年度環境市民活動助成、東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」)

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大し、農地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月 1 回、中井町でお世話になっている農家と、その親戚が所有する民有地で竹林を整備した。

第 19 期は、補助金に頼ることなく「もったいないから竹細工」の事業収入によって費用を捻出できた。第 18 期より整備を始めた竹林の所有者からは、「荒れ果てた竹林が少しずつ整備されて、今まで抱えていた不安が解消された」「筍が採りやすくなった」などと感謝の言葉をいただき、地域への貢献を実感できた。参加者数は、のべ 124 名 (昨期 99 名) とリピーターの定着を確認できた。

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|-----------|-----------------|-----|------|
| 7/15 (日) | マーキング、間伐、材の伐り出し | 12 | 1 |
| 8/19 (日) | 間伐、材の伐り出し | 7 | 1 |
| 9/16 (日) | 間伐、材の伐り出し | 9 | 1 |
| 10/21 (日) | 間伐、材の伐り出し | 13 | 1 |
| 11/18 (日) | 間伐、材の伐り出し | 11 | 1 |
| 12/16 (日) | 間伐、材の伐り出し | 9 | 1 |
| 1/20 (日) | 間伐、材の伐り出し | 10 | 1 |
| 2/17 (日) | 間伐、材の伐り出し | 10 | 1 |
| 3/17 (日) | 間伐、材の伐り出し | 9 | 1 |
| 4/21 (日) | 間伐、材の伐り出し | 9 | 1 |
| 5/19 (日) | 間伐、材の伐り出し | 8 | 1 |
| 6/16 (日) | 間伐、材の伐り出し | 5 | 1 |

112 12

3) よこはま里山レンジャーズ (連携: 認定 NPO 法人自然環境復元協会 (NAREC)、横浜市市民活動推進基金 [よこはま夢ファンド])

本事業は、里山保全活動を始めようとする主に若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体とをつなぐマッチングプログラムである。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したボラン

ティア「レンジャー」(3,329名、2019年1月時点)に対し、受入団体と活動内容が調整された出動要請メールが発信され、レンジャーはそのメールに返信するだけで希望する活動に参加できる。活動当日は10~20名程度のレンジャーが集まり、レンジャーズリーダーの誘導のもと受入団体の活動に参加するため、一人で参加する心細さがない。

7年目を迎えた第19期は、市内6か所のフィールドにおいて、8回のレンジャーズ派遣を予定し、7回実施した(1回は雨天中止)。参加者数は63名(昨期6回実施、48名参加)であった。

また、課題となっているレンジャーズリーダーを養成するため、2月2日にリーダー研修をNARECと共催で実施し11名の参加があった。今後、リーダーとしての活躍が期待される。

| 回 | 実施日 | 実施場所 | 受入団体 | 参加者 |
|---|----------|---------|-------------------|------|
| 1 | 7/22(土) | 新治の谷戸田 | NPO法人新治里山「わ」を広げる会 | 雨天中止 |
| 2 | 9/23(日) | 川井緑地 | よこはま里山研究所 | 10 |
| 3 | 10/27(土) | 瀬上市民の森 | 瀬上さとやまもりの会 | 7 |
| 4 | 11/25(日) | 恩田の谷戸 | 恩田の谷戸ファンクラブ | 9 |
| 5 | 2/10(日) | 瀬上市民の森 | 瀬上さとやまもりの会 | 7 |
| 6 | 2/16(日) | 川井緑地 | よこはま里山研究所 | 9 |
| 7 | 5/25(土) | 新治の谷戸田 | NPO法人新治里山「わ」を広げる会 | 12 |
| 8 | 6/1(土) | 元町公園プール | 横浜にとんぼを育てる会 | 9 |

63

4) 里山保全ボランティアの安全技能研修(平成30年度「緑の募金」公募事業、協力:株式会社かんぼ生命保険)

里山で活動するボランティアに対して、安全に活動を進めるための必要な知識や技術、作業グループにおける指導力修得などを目標とした研修会を開催した。第17期は若手や新人ボランティアを主な対象としたが、第18期からはNORAのベテランボランティアも研修会に参加してもらうことで、作業手順や安全確認、安全用具の重要性を再認識してもらうことができた。第19期は継続的に安全技能研修を実施することで、「NORAの山仕事」の安全管理の向上を図った。

| 回 | 実施日 | 実施場所 | 内容 | 参加者 |
|---|--------------------|----------------|--------------------------|-----|
| 1 | 9/16(土) 9/17(日) | 新治里山公園 | 里山保全を安全に楽しく進めるための作業計画づくり | 17 |
| 2 | 2/3(日) 2/10(日) | 新治里山公園 川井緑地 | ノコ・ナタ・ロープを正しく使って木を倒すために | 12 |
| 3 | 4/14(日) | 川井緑地 | 刈払機の使い方 | 10 |
| 4 | 5/12(日) | 川井緑地 | チェーンソーの基本動作とメンテナンス | 10 |

49

5) 山道具の安全使用(提携:株式会社シンコー)

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結(2011年6月)して、チェーンソーメーカー(スチールSTIHL)の二次代理店業務を担い、環境に配慮し、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめている。第19期は、NORA会員、関係する森づくり団体や山仕事の参加者などへ、バッテリーチェーンソー・粉砕機をはじめ良質なエンジンオイルや環境に配慮した生分解性のチェーンオイルなど環境と安全に配慮した物品類を供給することができた。実績としては、チェーンソー3台、エンジン式樹木枝葉粉砕機1台、オイル等を販売した。

6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり (協力：株式会社かんぼ生命保険、ファンケル「HAPPY エコルーレット」)

2016年4月にプロジェクトを立ち上げてから3年目となった第19期は、これまでと同様に、里山の資源・空間をいかした社会的起業やライフスタイルの実現に関心のある層を対象にして、下表のとおり、ゼミ形式、シンポジウム形式、ワークショップ形式などを織り交ぜてイベントを開催した。のべ参加者数は148名(昨期163名)で、申込み者が定員を超えた場合の対応を厳しくしたためにやや減少したが、毎回、目的に応じて参加者を集めることができている。寄付金の活用期間が1月までと限られているために通年で事業を展開できていない点に課題があるので、自主財源で年間を通して定期的実施できるように、シゴトづくりの事業段階を一步前に進めたい。

| 実施日 | 実施場所 | タイトル | 参加者 ゲスト | スタッフ |
|-----------|-----------------|--|------------|------|
| 11/25 (日) | 新治里山公園 | 実践ゼミ「里山の木を加工して暮らしに取り入れる～グリーンウッドワーク、里山工房の魅力」 | 8 5 | 1 |
| 12/13 (土) | 喫茶杜舞人 | 実践ゼミ「インターネットで自然体験を売るーTABICA と里山ホストの挑戦」 | 13 5 | 2 |
| 12/23 (日) | 多摩市立グリーンライブセンター | シンポジウム「安全で楽しい都市林業・里山体験を担う人づくり～森づくりのリーダーを出す「モリダス」からの提案」 | 37 3 | 6 |
| 1/9 (水) | はまどま | 実践ゼミ「竹活用による竹林問題の解決法～竹灯籠祭り・乾燥筍・竹剥機実演」 | 20 2 | 2 |
| 1/18 (金) | 地球環境パートナーシッププラザ | 理論ゼミ「脱成長×(ランドスケープ+コミュニティ)」 | 20 2 | 3 |
| 1/29 (土) | KGU 関内メディアセンター | 上映会&シンポ「『さあ のはらへいこう』を見て里山保育・森のようちえんについて考える」 | 30 3 | 3 |

148

17

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市の里山における活動で、2014年からスタートした。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために「自然の中での様々な活動を通じて、幅広い年齢層、異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動をおこない、持続するシステムをつくりたいと考えている。

第19期の特徴は、2点挙げられる。①畑：昨年から畑を移転し、1反弱ほどの面積で耕作をおこなってきたが、地域の方の高齢化により耕作できなくなった1反強の畑の管理を引き受けた。水田の1反と合わせて、計3反の農地を管理・耕作するまでになった。これは、地域の中で農地管理・耕作の実績を重ね、資源管理の担い手として認められつつあることの表れであり、望ましい形である。②水田：米づくりを始めて3年目を迎えるが、今期は市内在住の18家族50名を受け入れて、田植え、草取り、収穫(予定)の農作業体験をおこなっている。事前の準備こそ必要であるが、1反の面積を手植えで2～3時間で終えることができ、マンパワーのすごさを実感している。

活動日は計37日(16期77日→17期72日→18期63日)で、1週～2週に1日程度のペースで活動をおこなった。スタッフの疲弊を考慮し、日数を減らして効率的な作業計画をおこなった結果である。

のべ参加人数は 258 名（16 期 494 名→17 期 367 名→18 期 281 名）と総参加者数は減っているが、1 回あたりの参加者数は増えており、SNS 等によるイベント参加の声かけが功を奏した。今期も中学生や家族など多様な参加者が見られたが、参加者同士の交流は作業をしながら会話する程度に留まり、交流を深めるまでには至らなかった。今後は、作業後の食事会など「あそび」の部分充実させ、参加者同士が互いに結びつくことができる時間と場所を提供できるよう、仕組みをつくっていききたい。

| 実施日 | | 回 | 活動内容 | 参加数 |
|------|-----------------------------------|---|--|-----|
| 7 月 | 16 (月) | 1 | 草刈り、草取り、収穫 | 2 |
| 8 月 | 25 (土)、26 (日) | 2 | 草刈り、草取り、収穫 | 4 |
| 9 月 | 9 (日)、23 (日) | 2 | 草刈り、草取り、収穫、農機具庫整理 | 5 |
| 10 月 | 1(月)、7(日)、21(日)、 22 (月)、27 (土) | 5 | 草刈り、野菜収穫、 中学生農作業体験 (稲刈り) | 18 |
| 11 月 | 3 (土)、11 (日)、 18 (日)、23 (金) | 4 | 稲刈りイベント (稲刈り、脱穀)、脱穀、粃摺り、精米、 収穫 (サツマイモ)、干し柿作り、 <u>収穫祭 (脱穀・粃摺り・精米・燻製・豚汁・おにぎり・焼き芋・焼きマシュマロ・大学芋・クラフト・レーザークラフト)</u> | 105 |
| 12 月 | 2(日)、9(日)、15(土)、 23 (日) | 4 | 木工、稲ワラの搬出、 <u>マーケット出展</u> 、収穫 | 10 |
| 1 月 | 6 (日)、20 (日) | 2 | 稲ワラの搬出、生き物探し、田んぼの畦修復、草刈り | 8 |
| 2 月 | 3 (日)、24 (日) | 2 | クラフト (キーホルダー作り)、 <u>マーケット出展</u> | 6 |
| 3 月 | 10 (日)、17 (日)、 23 (土) 31 (日) | 4 | 畑の残渣処理、野菜苗植え、ピザ窯作り直し、クラフト (キーホルダー作り)、ツクシ採り | 11 |
| 4 月 | 14 (日)、21 (日) | 2 | ピザ窯作り直し、水田耕耘、畑駐車スペース整備 | 5 |
| 5 月 | 3(金)、6(月)、12(日)、 19 (日) | 4 | 用水路清掃、畑耕耘、草刈り、 <u>イベント出展 (キーホルダー作り)</u> 、薪割り、中学生農作業体験 (クサイチゴ摘み・サツマイモ植え・ネギの苗植え)、野菜苗植え | 15 |
| 6 月 | 2 (日)、10 (日)、 16 (日) 23 (日) | 5 | 草刈り、水の引き込み・代掻き、中学生農作業体験 (サツマイモ植え・BBQ)、 <u>田植え体験イベント (親子 50 名、スタッフ 5 名)</u> | 69 |

37

258

持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

2008 年 6 月に「はまどま」発足後 11 年の間、街なかの里山の入り口、里山を暮らしに活かす実践の場として多様な企画を実現してきた。宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」実行委員会などに参加し、地域の方々との信頼関係を積み重ねてきたが、持続的に運営するためには、さらに「はまどま」を地域へ開くことが課題となっている。

(1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17～19 時、大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市を開催し、15 年が経過した。この間、2011 年の福島第一原子力発電所の放射線汚染という重大な被害を経て、TPP (環太平洋パートナーシップ協定) への批准や TPP を離脱した米国との貿易交渉によっては、日本農業は取り返

しのつかない状態に陥る危機にある。日本の食料自給率はカロリーベースで、2018年度は37%に下落し、米不足となった1993年以来の最低水準である。農業の担い手の高齢化による生産基盤の弱体化が、天候異変において決定的に表面化している。農業経営体の数は120万を割っており(2010年は168万)、49歳以下の新規就農者数も下落傾向になって2万人を割るようになった。

日々の暮らしに欠かすことのできない食糧を、交流できる生産者から得ながら、安心・安全な食を育む「環境」に暮らせることの意味を問い続けてきたが、近年では子育て家庭の利用が盛んになってきている。「こども食堂」への農産物の提供も、3~4か所へと拡がり、本格化した。

(2) 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会

安全で美味しい作物が生育できる環境は、人間が暮らす環境としても安心できるに違いない。私たちが暮らす神奈川では、多様な農業生産がおこなわれている。畜産・酪農・水産・林業とその加工品までも含めた豊かで優れた生産を支え、次世代につなげたい。私たち自身が、その魅力を知ることから始めたい。第19期の参加者はのべ62名(昨期73名)であった。

| 回 | 実施日 | 内容 | 参加者 |
|----|-----------|-----------------------------|-----|
| 13 | 7/7 (土) | 七夕四色そうめん・かぼちゃ、アスパラ素揚げ・茄子の煮浸 | 5 |
| 14 | 9/1 (土) | 黒豆ごはん・具だくさん味噌汁・生きくらげサラダ・酢の物 | 7 |
| 15 | 9/24 (月) | はるみご飯・かぼちゃとミョウガの味噌汁・紅東ふかし・梨 | 8 |
| 16 | 10/6 (土) | バターナッツパンナコッタ・生姜ごはん・芋煮 | 4 |
| 17 | 11/17 (土) | 豚汁・柿と大根のサラダ・インゲン、ひらたけ、人参蒸合 | 5 |
| 18 | 1/19 (土) | 黒米とユメサガミの炊き込み御飯、豚汁、里芋と人参の煮物 | 5 |
| 19 | 2/2 (土) | 白菜とひき肉の煮込みスープ・ふきのとう、ひたらけ天ぷら | 4 |
| 20 | 4/6 (土) | タケノコご飯、おからがんもどき、豆腐ふわふわスープ | 12 |
| 21 | 5/18 (土) | 甘夏寿司・野ブキ煮物・トマト煮込みスープ | 7 |
| 22 | 6/1 (土) | 混ご飯・真竹の炒め物・水ぶきの出汁煮・はまどま味噌汁 | 5 |

62

(3) もったいないから竹細工 (セブンイレブン記念財団2018年度環境市民活動助成、東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」)

里山では手入れされない竹林が生い茂り、邪魔物として扱われている。かつて有用だった竹を生かさないのはもったいないので、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。

毎月第2土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら全12回で、六つ目編みを基本とした竹かご7作品をつくる。第3木曜・第4土曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど(カトラリー)、さまざまな食器もつくる。

第19期は、竹細工工房へのキャンセル待ち解消のために、リピーター限定で平日の実施日(第1水曜)を増設した。一方、竹かご教室では、新規申込者の受け入れ枠を2名から5名へと増やしたが、そのためにリピーターの慢性的なキャンセル待ちが課題となった。参加者数は、竹かご教室がのべ177名(昨期166名)とほぼ定員に近い状態で、竹細工工房は活動日を毎月1日増やしたことにより、のべ471名(昨期253名)と飛躍的に増え、合計の参加者数は648名(昨期419名)となった。

参加費収入が増えたことで、竹を活かす山仕事を含めた竹細工事業は、自立して運営することができた。定例の活動以外では、8月と9月に長浜公園において、竹の風ぐるま作りワークショップを実施した。また、竹資源の有効活用をさらに進めることを目的として、竹ひごづくりの機械化のために竹剥ぎ機2台(荒剥ぎ/薄剥ぎ)の加工設備を購入した。

【竹かご教室】

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|-----------|-------|-----|------|
| 7/14 (土) | 竹かご作り | 12 | 4 |
| 8/11 (土) | 竹かご作り | 13 | 4 |
| 9/8 (土) | 竹かご作り | 13 | 3 |
| 10/13 (土) | 竹かご作り | 12 | 3 |
| 11/10 (土) | 竹かご作り | 12 | 3 |
| 12/8 (土) | 竹かご作り | 11 | 3 |
| 1/12 (土) | 竹かご作り | 13 | 3 |
| 2/9 (土) | 竹かご作り | 11 | 3 |
| 3/9 (土) | 竹かご作り | 8 | 3 |
| 4/13 (土) | 竹かご作り | 13 | 3 |
| 5/11 (土) | 竹かご作り | 12 | 3 |
| 6/8 (土) | 竹かご作り | 9 | 3 |

139

38

【竹細工工房】

| 実施日 | 参加者 | スタッフ | 実施日 | 参加者 | スタッフ |
|-----------|-----|------|----------|-----|------|
| 7/4 (水) | 9 | 3 | 1/9 (水) | 13 | 3 |
| 7/19 (木) | 8 | 3 | 1/17 (木) | 12 | 2 |
| 7/28 (土) | 10 | 3 | 1/26 (土) | 15 | 3 |
| 8/1 (水) | 9 | 2 | 2/6 (水) | 14 | 2 |
| 8/16 (木) | 8 | 3 | 2/21 (木) | 12 | 3 |
| 8/25 (土) | 9 | 3 | 2/23 (土) | 14 | 3 |
| 9/5 (水) | 6 | 2 | 3/6 (水) | 13 | 3 |
| 9/20 (木) | 10 | 3 | 3/21 (木) | 13 | 3 |
| 9/22 (土) | 11 | 3 | 3/23 (土) | 12 | 3 |
| 10/3 (水) | 9 | 2 | 4/3 (土) | 8 | 2 |
| 10/18 (木) | 11 | 3 | 4/18 (水) | 13 | 3 |
| 10/27 (土) | 16 | 3 | 4/27 (木) | 12 | 3 |
| 11/7 (水) | 8 | 2 | 5/1 (土) | 15 | 2 |
| 11/15 (木) | 11 | 3 | 5/16 (水) | 13 | 3 |
| 11/24 (土) | 13 | 3 | 5/25 (木) | 14 | 3 |
| 12/5 (水) | 12 | 2 | 6/5 (水) | 6 | 2 |
| 12/20 (木) | 12 | 3 | 6/20 (木) | 16 | 3 |

| | | | | | |
|-----------|---|---|-----------------------------|----|---|
| 12/22 (土) | 8 | 3 | 6/22 (土) | 14 | 3 |
| | | | 379 92 | | |

(4) はまどまで土間仕事

今期も川口糰店さんをお招きして味噌作りを開催した。5月のこの時期は、川口さんがご自身のお店でも味噌作りを開催しているため、昨期よりも参加者は少なくなったが、「はまどま」で川口さんと顔を合わせ、話をしながらのワークショップは楽しいものだった。

| 実施日 | 内 容 | 参加者 | スタッフ |
|----------|-------------------|-----|------|
| 5/12 (日) | 川口糰店さんと味噌作り～大豆&米糰 | 15 | 1 |
| 6/19 (火) | 緊急梅しごと | 2 | 1 |
| 6/23 (日) | 気楽に気軽に梅干し作り | 6 | 1 |
| | | 23 | 3 |

(5) 里山の恵み・伝統文化と出会う上映会 (共催：郷土映像ラボラトリー)

民族文化映像研究所に約130本ある記録映画を中心とした上映会で、郷土映像ラボラトリー(中川美帆さん主宰)との共催により、ほぼ月1回、定期上映している。

| 実施日 | 作 品 | 参加者 | スタッフ |
|--------------|-----------------------|-----|------|
| 7/22 (日) | 『イヨマンテー熊おくり』 | 7 | 1 |
| 8/27 (日) | 『沙流川アイヌ・子どもの遊び』 | 4 | 1 |
| 9/30 (日) | 『未来を耕す人々』<特別企画> | 6 | 1 |
| 10/28 (日) | 『稲ワラの恵み～飛騨白川郷』 | 6 | 1 |
| 11/26 (日) | 『稲ワラの恵み』 薫細工ワークショップ付 | 5 | 1 |
| 12/3 (日) | 『川越まつり』『薩摩の水からくり』 | 3 | 1 |
| 1/28 (月) | 『秩父の通過儀礼その2』『鹿児島正月行事』 | 5 | 1 |
| 3/25 (月) | 『小川和紙』『奄美の泥染』 | 8 | 1 |
| 5/27 (月) | 『秩父の通過儀礼その1』 | 3 | 1 |
| 6/24 (月) | 『武州藍』 | 3 | 1 |
| ※2月は休会・4月は流会 | | 50 | 10 |

(6) はまどま諸々

会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参加者と学び合ったりする活動である。

①季節の素材でワンプレートメイキング (山本美香会員)

第19期は都合により開催回数が少なかったが、今後、夏冬は親子向けとして参加費も抑え、地域の方々が参加しやすいようにしていく。

| 実施日 | 内 容 | 参加者 | スタッフ |
|-----------|------------------------|-----|------|
| 7/17 (火) | スイーツ夏編：バースデーケーキ、野菜ピザ | 3 | 1 |
| 10/23 (火) | スイーツ秋編：かぼちゃプリン、ガトーショコラ | 7 | 1 |
| 12/18 (火) | スイーツ冬編：クリスマスケーキ、ひつつみ汁 | 15 | 1 |
| | | 28 | 3 |

②お香のてならい（粕谷恵会員）

毎月2回、金曜日夜に継続的に開催できるようになり、少しずつリピーターが増えてきた。

| 実施日 | 内 容 | 参加者 | スタッフ |
|----------|--------|-----|------|
| 11/16（金） | 塗香 | 2 | 1 |
| 11/30（金） | コーン型お香 | 1 | 1 |
| 12/21（金） | 印香 | 2 | 1 |
| 3/22（金） | コーン型お香 | 2 | 1 |
| 4/12（金） | 匂い袋 | 1 | 1 |
| 5/17（金） | 塗香 | 2 | 1 |
| | | 10 | 6 |

③はまどま寄り合いライブ（Choji 会員）

横浜育ちのシンガーソングライターで会員のChojiは、妻と共に三重県津市美杉町へ拠点を移し、里山暮らしを始めた。6月16日（父の日）には、築160年の自宅に約100名の観客が集い、美杉に来て2回目のコンサートを開き、神奈川・横浜からも参加し、和歌山・高野町など旧知の人々と旧交を温めた。

「はまどま」には、春と初秋の2回立ち寄って歌を聴かせてくれることが恒例企画になりつつある。

| 実施日 | 内 容 | 参加者 | スタッフ |
|---------|------------------------|-----|------|
| 8/28（火） | 神奈川野菜の晩御飯付き | 18 | 5 |
| 3/18（日） | 神奈川野菜の昼ご飯付き・民話『マサカリが淵』 | 20 | 5 |
| | | 38 | 10 |

④そのほか

今期開催したイベントは、ほぼ料理系であった。フレンチもトルコ料理も神奈川野菜あつての企画であり、その強みが活かされている。今後も、自分の企画を試してみたい人と「はまどま」らしい共催事業を実施していきたい。

| 実施日 | 内 容 | 外部講師 | 参加者 | スタッフ |
|----------|--------------------|---------|-----|------|
| 7/1（日） | 夏の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ | 國光博敏さん | 15 | 2 |
| 7/29（日） | 手編みで作る猫ハウス最終回 | 鈴木春美さん | 5 | 1 |
| 8/18（土） | 川口糰さんと野菜のピザを作ろう | 國光博敏さん | 10 | 2 |
| 9/3（月） | 神奈川野菜でトルコ料理を作ろう | 大濱裕美さん | 11 | 2 |
| 10/20（土） | 秋の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ | 國光博敏さん | 8 | 2 |
| 11/23（金） | クリスマスオーナメントを作ろう | 石村裕子さん | 4 | 1 |
| 12/1（土） | 2018年最後の宴～ブッフェで忘年会 | 國光博敏さん | 10 | 2 |
| 2/10（日） | 冬の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ | 國光博敏さん | 10 | 2 |
| 2/16（土） | 神奈川のお酒を野菜で呑む | 磯野カオリさん | 8 | 4 |
| 3/10（日） | 神奈川野菜でトルコ料理を作ろう | 大濱裕美さん | 20 | 2 |
| 5/12（日） | 春の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ | 國光博敏さん | 8 | 2 |
| | | | 109 | 22 |

2) はまどま改革

はまどまプロジェクトを持続的に実施していくには、一部の会員による献身ではなく、有志が気持ちよく支え合えるように空間の設えや運営の仕組みを変えていく必要がある。そこで、「街なかの里山の入口」としての「はまどま」の位置づけを確認したうえで、これまで以上に「はまどま」を地域に開き、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所であり、社会参加できる場へと変革を求めることにした。

2018年2月、地域の有志の方々に呼びかけて「はまどま寄り合い会議」を設置して、今後の可能性を展望するための議論を重ねた。関係各所から支援をいただき、蒔田地区社会福祉協議会との交流が実現したほか、南区の地域の居場所づくりモデル事業にも選定された。

第1期改修工事として、「よこはま夢ファンド」を通じた寄付金の活用し、床・壁面・天井の全面的な刷新をおこなったほか、合わせて大和ビルの支援を得てエアコンの更新、照明、電気コンセントの改善も実施できた。3月末に地域にお披露目した後、4月からは第2・第4水曜日午前中を「はまどまオープン」と名付け、地域の居場所として役立つ企画を模索している。

(1) はまどま寄り合い（横浜市南区平成30年度地域の居場所づくりモデル事業）

「はまどま」に関わりの深いNORA内外の関係者で、地域×里山の事業展開、運営の仕組みづくり、入りやすい雰囲気づくりのための改修について話し合いを重ねてきた。当面の運営体制は、仕組みづくりは協議会、実働ははまどまメンバーで分担することにした。

| 回 | 実施日 | 内容 | 参加者 |
|----|----------|---------------------------------|-----|
| 6 | 7/8（日） | 子ども食堂の可能性、南区の地域活動支援事業申請検討 | 15 |
| 7 | 9/19（水） | 「地域の居場所づくり支援モデル事業」打合せ①地域との連携可能性 | 7 |
| 8 | 10/22（月） | 「モデル事業」打合せ②地域活動との連携、改修希望の整理 | 12 |
| 9 | 11/19（月） | 「モデル事業」打合せ③改修アイデア出し | 11 |
| 10 | 12/17（月） | 「モデル事業」打合せ④改修デザイン提案 | 13 |
| 11 | 1/8（火） | 目的の再確認と改修の進め方の整理 | 7 |
| 12 | 1/21（月） | 「地域の居場所づくり支援モデル事業」打合せ⑤改修方針の共有 | 11 |
| 13 | 2/9（土） | 第1期改修工事最終打合せ | 6 |
| 14 | 4/27（土） | はまどま運営の考え方・課題の共有 | 11 |
| 15 | 5/19（日） | はまどま運営の課題の共有、当面の運営体制の確認 | 9 |
| 16 | 6/8（土） | はまどまの設え検討 | 6 |

(2) 第1期改修工事（横浜市市民活動推進基金〔よこはま夢ファンド〕）

現在の大和ビルへ事務所を移してから20年が経過した。寄り合いでは「空間を使いやすいようにきれいにすることが先決」となったため、2月26日～3月8日、壁・床・天井のリフォームを実施した。同時に、当ビルオーナーに要望を伝え、使い勝手に合わせた電気工事もおこなわれた。

施工は当ビルの状況を把握している関係業者に依頼した。観音開きのロッカー3台を手放す（1台は当面使用）ことし、残す必要のない書籍や資材を整理、適宜、処分した。リフォームの結果、天井・壁の色はほとんど変わっていないが、全体的に明るくなった。床材は古材風のものとして、違和感がない仕上がりとなった。また、配電の仕組みも変わり、活動内容に応じて点灯できるようになった。

(3) はまどまオープン

4月から第2・第4水曜日の6時半～昼頃まで、定期的にはまどまを開くことにした。早朝はラジオ体操帰りの給水所としてなど、ご近所さんが立ち寄ってくれるようになった。今後は気軽に地域の人が

参加できるワークショップなどの企画も立てていく。

3) 地域連携

- ・神奈川県内生産者の協力により、子ども食堂への農産物無料提供を継続中。睦地域ケアプラザを利用して開催する「コドイチ食堂」(第2土曜日)、「わいわい食堂」(第3土曜日)、フォーラム南太田では「みんなみーな」(隔月)。
- ・10/7(日)、いきいきふれあい南なんデーに「稲わらで遊ぼう!」参加。
- ・10/28(日)、町内会ハロウィンパーティーに参加。
- ・南太田小学校おやじの会の流し素麺に小沢幸雄さんの竹を提供。
- ・12/1(土)、フォーラム南太田まつりに野菜市と紙芝居・民話で参加。スタッフ応援5名。
- ・12/15(土)~16(日)、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあど」開催。「光の竹アートとワークショップ」「神奈川野菜のポタージュスープ・トマトスープ」「稲わら細工づくり」「自然素材のハンドクリームづくり」「森のコスターづくり」「民話と紙芝居」を実施。設営・飾りつけ・撤収にあたり、日枝小学校2年生・南太田小学校オヤジの会などに協力をいただいた。
- ・2/24(日)、蒔田ふれあいフェスタに「森のコスターづくり」「紙芝居と民話」で参加。
- ・3/24(日)子ども会のお楽しみ会に紙芝居と民話で参加。

4) 関連する活動

- ・NORA 野菜市を通して育った企画として、8月第1土曜日に定例開催する「ブルーベリーの摘み取りと流し素麺」がある。柏木家主催による生産者との交流会であり、NORA 会員がスタッフとして応援している。8月4日(土)に開催し、概ね大人40名、子ども35名が参加した。
- ・同様の企画「みかんの収穫作業お手伝い」は、12月第1土曜日に定例開催することにし、12月1日(土)に6名が参加した。
- ・「春待ちコンサート」は2月11日(祝)を定例日として、柏木家前庭でChojiのコンサートがある。小田原梅まつり期間中で、隣家の枝野家とともに庭を一般公開、この日は流鏝馬もおこなわれる。

4) ネットワーク

(1) まいたエコサロンの会

地域の環境活動拠点として横浜市と構成団体が協働して運営に関わっているが、「はまどま」活用の優先順位が高く、第19期もほとんど利用できなかった。

(2) 横浜コミュニティカフェネットワーク(YCCN)

11月7日(水)居場所作り入門セミナー、5月10日(金)YCCN総会に参加した。

総会の際、自分たちの活動をグループに分かれて聞いてもらう時間は、客観的にふりかえることができて参考になった。今後展開されるコミュニティカフェ巡りやカフェ同士の交流等に参加していきたい。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

11月4日(日)、伊勢佐木町6丁目で「地モノ市」を開催した(第18回エコイセザキ「エコイベント&地モノ市」、伊勢佐木町商店街主催・中区役所後援)。初めて参加した2004年当時と比べると、天候不順により農産物の収穫を予測することが年ごとに困難になっている。

この日は朝から雨で、午後には本降りになったが、無事に終了。前日準備に8名、当日スタッフに12名のべ20名にボランティア参加のほか、打ち上げなどの食事づくり、食事会に6名が参加してくれた。

10年以上前に野菜市を応援してくれた若者2名とも再会できた。

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

毎月、第1水曜日（1月・8月は休み）、NPO法人新治里山「わ」を広げる会の新治里山公園運営プロジェクト（実施主体は、自然観察／インタープリテーション部会）が「にいほる里山交流センター」で実施しているイベントへ広報協力をおこなっている。第19期はのべ191名（昨期9回184名）の参加者数となった。

| 実施日 | 内容 | 参加者 | スタッフ |
|---------|-----------------|-----|------|
| 7/4（水） | つる植物のかんさつ | 24 | 3 |
| 9/5（水） | なんちゃってハイ旬 | 19 | 3 |
| 10/3（水） | 寺家ふるさと村の秋を歩こう* | 21 | 11 |
| 11/7（水） | 三保市民の森ハイキング | 17 | 3 |
| 12/5（水） | おめでたい植物 | 17 | 3 |
| 2/6（水） | 植物の冬ごし（雨天のため室内） | 3 | 3 |
| 3/6（水） | 野鳥かんさつ | 22 | 3 |
| 4/3（水） | 足もとの小さな花たち | 20 | 3 |
| 5/8（水） | 森の木の花を楽しむ | 26 | 3 |
| 6/5（水） | いろんな蝶を見てみよう | 22 | 2 |

※寺家は横浜市みどりアップ計画関連事業 191 37

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

2003年に活動を開始した当フォーラムは、京浜臨海部において生物多様性に配慮した緑地の質の向上を目的に、企業・市民団体・行政・専門家が参加する集まりで、NORAは2015年1月から参加している。第19期は、夏のトンボ調査等に参加したほか、本牧市民公園、根岸森林公園、富岡総合公園、長浜公園において6月～10月にかけて指定管理者が主催する「トンボとり大作戦」の運営を担った。「トンボとり大作戦」への子どもの参加者数とマーキングされたトンボの数は下表のとおりである。

調査場所毎の参加者数

| 調査場所 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|-----|-----|
| 本牧市民公園 | | 8 | 15 | 中止 | 39 | 62 |
| 根岸森林公園 | | 中止 | | 21 | | 21 |
| 富岡総合公園 | 21 | 7 | 3 | 2 | 1 | 34 |
| 長浜公園 | 12 | 9 | 5 | 6 | 5 | 37 |
| 合計 | 33 | 24 | 23 | 29 | 45 | 154 |

捕獲・マーキングされたトンボの数

| 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 合計 |
|----|----|-----|----|-----|-----|
| 17 | 11 | 77 | 中止 | 4 | 109 |
| | 中止 | | 19 | | 19 |
| 5 | 17 | 18 | 10 | 2 | 52 |
| 17 | 24 | 51 | 5 | 11 | 108 |
| 39 | 52 | 146 | 34 | 17 | 288 |

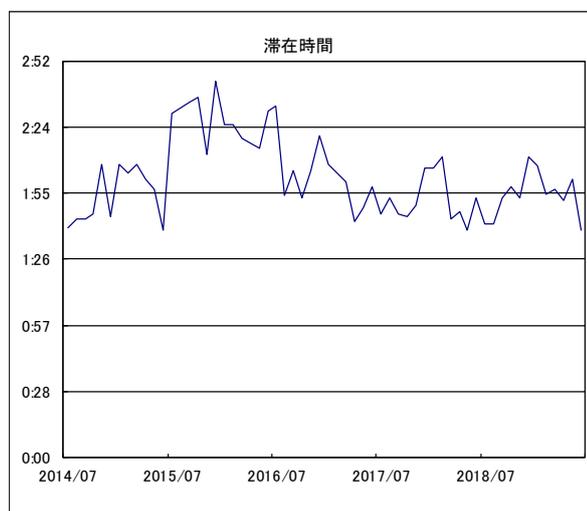
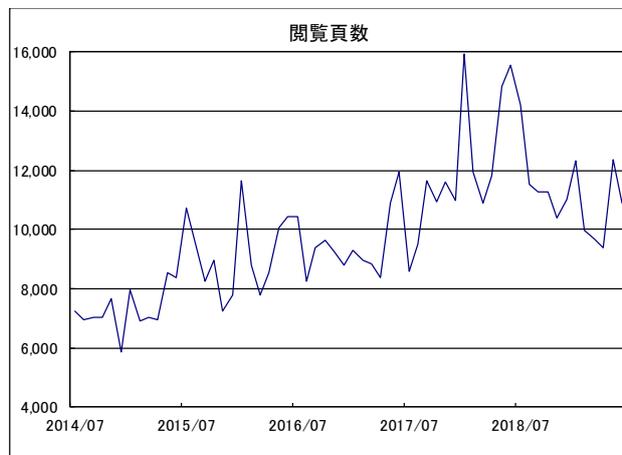
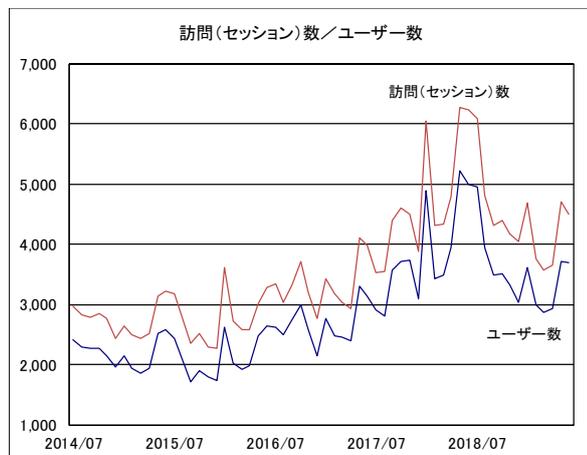
※6月は18期

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第19期も、各プロジェクトの告知、報告記事のアップなど情報発信を定期的におこなった。毎月、メールマガジンと連動するプロジェクトの告知記事、コラムの更新は順調であるが、報告記事の更新は滞りがちなので、記事作成を役割分担するなどの対応が必要となっている。

訪問数は月平均 3,511（第 17 期 3,342→第 18 期 4,707）となり、「里山ガーデン」関係で急増した影響は、あまり見られなくなった。閲覧頁数は 11,199（第 17 期 9,507→第 18 期 12,027）と訪問数よりも減少の割合は少なかった。滞在時間や直帰率は昨期並みで、情報発信に工夫の余地は大きい。

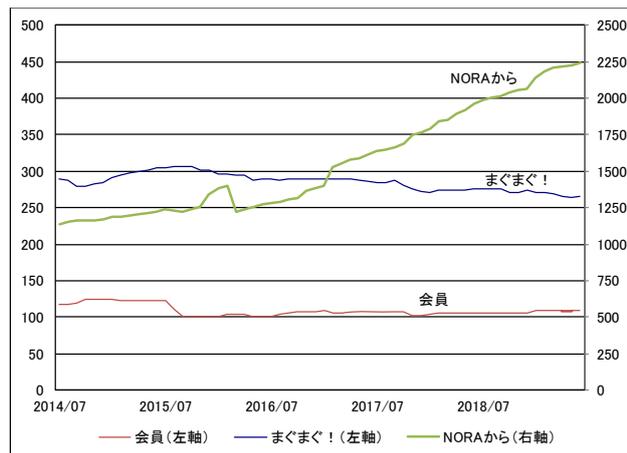
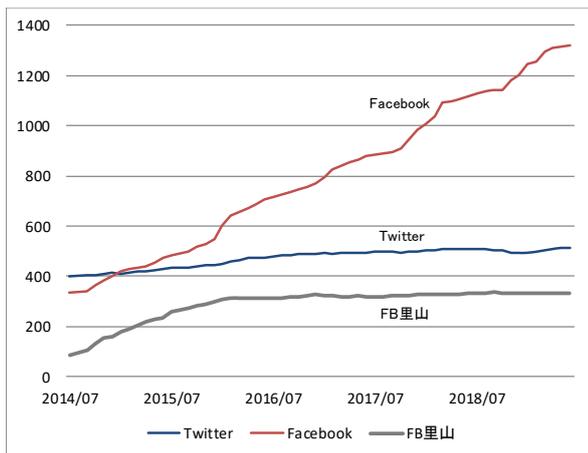


2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を毎月配信した（第 122～133 号）。第 19 期末の 6 月時では、会員宛て（110）には会員メーリングリスト経由で配信し、事務局が把握している会友・関係者（2,264）には直接メールを送信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」でも配信しているが、読者数（265）は停滞・減少傾向にある。毎月、約 2,600 アドレスに情報を配信しており、日別サイト訪問数はメルマガ配信後に毎月急増することから、依然として重要な広報媒体となっている。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

ウェブサイトの更新よりも facebook による情報発信の方が活発で、第 19 期末のフォロワー数は 1,320（第 17 期 878→第 18 期 1,116）と増加した。一方、Twitter のフォロワー数は 514（第 17 期 499→第 18 期 507）と微増にとどまった。facebook グループ「里山とかかわる暮らしを」では、各自のかかわり方を facebook に投稿・シェアして、里山とかかわる暮らしの普及を図っているが、メンバー数は 333（第 17 期 319→第 18 期 329）と、こちらも微増であった。



4) 年間報告書の作成

年末に「2018年活動報告」(A4、三つ折り)を作成し、会員・会友へ配布した。自主事業等の1年間の活動を紙面で報告するとともに、年越し前に年会費振込みを促した。

協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) 保育所・小中学校等ビオトープ整備のアドバイザー派遣 (横浜市環境創造局みどりアップ推進課)

〈実施期間：2018年5月～2019年3月、2019年5月～2020年3月〉

2018年度は、当該事業でビオトープ整備を実施した小学校15校に対してフォローアップをおこない、ビオトープの維持管理・活用方法、ビオトープ整備方法等について指導した。

また、新規にビオトープ整備を行った小学校11校(新規9校、継続2校)を訪問し、ビオトープ整備にかかる計画づくり、整備方法等について助言をおこなった。2019年度も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する助言を実施する。

2) 長浜公園トンボ池等管理業務 (公益財団法人 横浜市緑の協会)

〈実施期間：2018年4月～2019年3月、2019年4月～2020年3月〉

2018年度は、長浜公園(横浜市金沢区)のトンボ池、水田等の市民を対象とした環境啓発、生物の生息空間の保全・創造のためのトンボ池等の日常管理、並びに本牧市民公園、富岡総合公園でトンボ取り大作戦の運営をおこなった。2019年度は、引き続き、トンボ池や水田の適正管理、啓発事業として田植え体験や小学校の授業でのヤゴ救出の実施、「トンボとり大作戦」をとおした生き物調査などをおこなっている。

3) 野島公園ビオトープ水路環境調査 (公益財団法人 横浜市緑の協会)

〈実施期間：2018年4月～2019年3月、2019年5月～2020年3月〉

2018年度は、2017年度に作成した「多様な生物が生息できる空間への改善に向けた環境改善計画」に基づいて、ビオトープ池の管理、水環境、水生生物調査を実施した。

2019年度は、引き続きビオトープ池の管理を実施する。なお、水生生物調査、観察会業務は観音崎博物館が実施することとなった。

4) 本牧市民公園とんぼ池環境管理業務 (公益財団法人 横浜市緑の協会)

〈実施期間：2018年4月～2019年3月〉

本牧市民公園とんぼ池の生物多様性機能を向上させるため、環境教育の場としての活用をとおして適正な維持管理を行うとともに、「トンボとり大作戦」の運営を行うとともに、本牧市民公園とんぼ池の環境管理計画を作成した。

5) 本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦開催業務 (横浜植木株式会社)

〈実施期間：2019年6月～2019年10月〉

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、本牧市民公園と根岸森林公園で毎月1回トンボとり大作戦の運営を実施する。

6) 森づくり個人ボランティア派遣及び体験事業業務 (横浜市環境創造局みどりアップ推進課)

〈実施期間：2018年11月～2019年3月〉

森を育む人材育成事業に登録された森づくりボランティアの活動推進を目的とし、既存の森づくり活動団体への派遣および個人参加による森づくり活動を支援した。

6) Green Gift 地球元気プログラム (NPO 法人日本 NPO センター、東京海上日動火災保険株式会社)

〈実施期間：2018年10月～2019年9月〉

「Green Gift 地球元気プログラム」とは、東京海上日動火災(株)の「Green Gift」プロジェクトの一環として全国で展開されている環境保全活動であり、事業を終了する3年目を迎えた。小松・城北地区の里山を活動場所として、地元の「小松・城北」里山をまもる会の協力を得て、一般社団法人まちやま、関東EPO、神奈川県、相模原市などと連携して年に2回、親子向けの環境教育プログラムを実施しており、毎回、定員を超える参加者に恵まれており、参加者アンケートの評価も高かった。今後は、持続可能な環境保全の仕組みづくりに向けて、仕組みづくりが求められる。

| 実施日 | 内容 | 参加者 | スタッフ |
|----------|------------------------------|-----|------|
| 7/22 (日) | 竹の切り出しから体験！親子で流しそうめん | 42 | 20 |
| 6/15 (土) | イモ掘り・豆植え&ホタル観賞～親子でアジサイの咲く里山へ | 42 | 22 |
| | | 84 | 42 |

委員・講師派遣等

1) 委員

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会 (～2019年3月)
 - －市民活動運営支援事業部会
- ・林野庁補助事業「森林づくり活動団体への実態調査・分析」検討委員会

○吉武美保子

- ・神奈川県里地里山保全協議会
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会

2) 講師・執筆

○石田周一

- ・月刊『JA 広報通信』にコラム「里山とかかわる暮らし」を2018年7月～12月執筆。12月(2019年2月号)をもって終了となった。 <吉武と共同>

○島村雅英

- ・11/17（土）平成30年度交流事業〔里山編〕（川崎市公園協会）講師
- ・横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」を21回（2018年度中16回、2019年度中5回）、のべ1,000名の児童に対して開催した。

| 回 | 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数 |
|----|----------|-----------|----------|----|
| 1 | 7/2（月） | 美しが丘東小学校 | 情報・環境委員会 | 18 |
| 2 | 7/3（火） | 永田小学校 | 6年生 | 75 |
| 3 | 7/5（木） | 矢向小学校 | 5年生 | 38 |
| 4 | 7/12（木） | 下野庭小学校 | 3年生 | 89 |
| 5 | 8/31（金） | 日野南小学校 | 6年生 | 33 |
| 6 | 8/31（金） | あざみ野第一小学校 | 4年生 | 91 |
| 7 | 9/11（火） | 小雀小学校 | 環境委員会 | 20 |
| 8 | 9/21（金） | 霧が丘学園 | 4年生 | 28 |
| 9 | 10/3（水） | 青木小学校 | 4年生 | 33 |
| 10 | 10/3（水） | 立野小学校 | 3年生 | 40 |
| 11 | 10/10（水） | 平安小学校 | 3年生 | 35 |
| 12 | 10/23（火） | 並木中央小学校 | 5年生 | 50 |
| 13 | 11/14（水） | 南瀬谷小学校 | 5年生 | 37 |
| 14 | 11/26（月） | 綱島東小学校 | 5年生 | 38 |
| 15 | 1/9（水） | つつじヶ丘小学校 | 3年生 | 30 |
| 16 | 1/11（金） | 南山田小学校 | 6年生 | 35 |
| 17 | 6/7（金） | 下野庭小学校 | 4年生 | 91 |
| 18 | 6/11（火） | 高田東小学校 | 5年生 | 70 |
| 19 | 6/17（月） | 吉原小学校 | 4年生 | 40 |
| 20 | 6/21（金） | 岸谷小学校 | 4年生 | 73 |
| 21 | 6/26（水） | 永田小学校 | 6年生 | 36 |

1,000

○松村正治

- ・11/11（日）環境学習セミナー（多摩市民環境会議）講演
- ・1/12（土）「Epo カフェ～まちと里山と、わたしのカンケイ 地域循環共生圏って、なに？」（関東EPO）話題提供
- ・2/2（土）「どうする？どうなる？これからの森づくり2019」（森づくりフォーラム）コメント
- ・2/17（日）ミニシンポ（明治大学倉本研究室）で生田緑地マネジメント会議と意見交換
- ・3/7（木）泉区地域福祉保健計画推進イベントにて講演
- ・3/19（火）多摩市社会起業家講座（関戸公民館）にて講演
- ・6/23（日）多摩市民環境会議総会にて講演
- ・『環境社会学研究』24号、特集「環境社会学と「社会運動」研究の接点-いま環境運動研究が問うべきこと」に寄稿
- ・日本造園学会誌『ランドスケープ研究』83巻1号、特集「ポスト成長社会におけるランドスケープの方向-「Degrowth」の可能性」に寄稿

○吉武美保子

- ・9/16（日）、30（日）、10/20（土）インタープリター養成講座（横浜市みどりアップ推進課）
- ・10/14（日）新治市民の森 20 周年記念 仲丸さんヒアリング聞き役（新治市民の森愛護会）
- ・12/13（木）古橋の森保全管理計画（横浜市みどりアップ推進課）アドバイザー派遣
- ・1/31（木）里地里山サミット（神奈川県農地保全課）コーディネーター
- ・2/17（日）里地里山フォーラム（秦野市森林づくり課）コーディネーター
- ・6/23（日）、30（日）森づくりボランティア養成講座（横浜市環境活動支援センター）

| プロジェクト | 第12期 | 第13期 | 第14期 | 第15期 | 第16期 | 第17期 | 第18期 | 第19期 | 備考 |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 2011.7-2012.6 | 2012.7-2013.6 | 2013.7-2014.6 | 2014.7-2015.6 | 2015.7-2016.6 | 2016.7-2017.6 | 2017.7-2018.6 | 2018.7-2019.6 | |
| NORAの山仕事 | 209 | 231 | 223 | 290 | 296 | 315 | 288 | 391 | 2015.7-やま守り編も |
| 竹を活かす山仕事 | 21 | 26 | 36 | 67 | 84 | 94 | 99 | 124 | 2011.4- |
| ヤマ よこはま里山レンジャーズ | | 182 | 153 | 96 | 169 | 81 | 48 | 63 | |
| 里山保全を安全で楽しく | | | | | | 40 | 40 | 49 | |
| 里山でシゴトづくり | | | | | 129 | 98 | 177 | 165 | |
| 休耕地再生で農体験 | 241 | 237 | 94 | | | | | | 2011.4-2014.3 |
| ヨコハマで農業体験 | 18 | 42 | 7 | | | | | | 2011.4-2014.3 |
| NORAの野良仕事 | 5 | 1 | 4 | | | | | | -2013.12 |
| 森と畑と音楽と | | | 101 | 320 | 494 | 367 | 281 | 258 | 2013.11- |
| 神奈川野菜の食事会 | 197 | 195 | 164 | 103 | 95 | 38 | 73 | 62 | |
| もったいないから竹細工① | 75 | 48 | 82 | 135 | 137 | 135 | 166 | 177 | 竹かご教室 |
| もったいないから竹細工② | 27 | 21 | 42 | 135 | 160 | 264 | 253 | 471 | 竹細工工房 |
| 筆とお香 | 6 | 19 | 7 | 41 | | | | | 旧：野を描く→筆で描こう |
| お話の会 | 110 | 42 | 20 | | | | | | 旧：朗読の夕べ |
| ムラ はまどまシアター（映画） | | 8 | 27 | | 110 | 71 | 51 | 60 | 2013.6- |
| はまどまで土間仕事 | | | 27 | 27 | 135 | 66 | 64 | 26 | 2014.2- |
| はまどま手習い塾 | | | | 24 | 130 | 118 | 61 | 47 | 旧：NORAの部活 |
| NORAサロン・ライブ | | | 51 | 69 | 38 | 0 | 70 | 48 | 2013.12復活 |
| はまどま諸々 | | | | | | | 75 | 131 | |
| はまどまPJ計 | 415 | 333 | 420 | 534 | 805 | 692 | 813 | 1,022 | |
| イキ | | | | | | | | | |
| モノ 旬の里山探訪 | 29 | 106 | 148 | 198 | 167 | 176 | 184 | 191 | （外部スタッフ除く） |
| トンボとり大作戦 | | | | | | | 146 | 127 | 154 |
| Green Gift | | | | | | 79 | 101 | 84 | （外部スタッフ除く） |
| ハレ 竹細工ワークショップ | | | | | | | 68 | 68 | |
| 特別なハレ | 125 | | 54 | | | 23 | 15 | | |
| 合計 | 1,063 | 1,158 | 1,240 | 1,505 | 2,144 | 2,111 | 2,241 | 2,569 | |
| | ※10周年 | | ※TPP | | | ※里山がーデン | ※里山がーデン | | |
| サイト訪問者数 | 1,732 | 2,271 | 2,650 | 2,762 | 2,770 | 3,342 | 4,707 | 3,511 | |
| サイト閲覧回数 | 5,655 | 7,316 | 7,371 | 7,297 | 9,113 | 9,507 | 12,027 | 11,199 | |
| 直帰率 | 57.57 | 57.83 | 63.64 | 65.70 | 60.49 | 64.46 | 67.45 | 67.66 | （単位：％） |

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2018年 7月 1日 至 2019年 6月30日

| | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 【経常収益】 | | | |
| 【受取会費】 | | | |
| 運営会員受取会費 | 180,000 | | |
| 一般会員受取会費 | 123,000 | 303,000 | |
| 【受取寄付金】 | | | |
| 受取寄付金 | | 1,499,369 | |
| 【受取助成金等】 | | | |
| 受取助成金 | | 1,250,000 | |
| 【事業収益】 | | | |
| 自主事業収入 | 2,945,600 | | |
| 販売事業収入 | 446,562 | | |
| 受託事業収入 | 5,504,092 | 8,896,254 | |
| 【その他収益】 | | | |
| 受取利息 | 92 | | |
| 雑収入 | 345,600 | 345,692 | |
| 経常収益計 | | | 12,294,315 |
| 【経常費用】 | | | |
| 【事業費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| (その他経費) | | | |
| 業務委託費(事業) | 4,079,200 | | |
| 諸謝金(事業) | 1,987,460 | | |
| 印刷製本費(事業) | 62,982 | | |
| 会議費(事業) | 5,575 | | |
| 旅費交通費(事業) | 104,920 | | |
| 通信運搬費(事業) | 8,290 | | |
| 消耗品費(事業) | 1,985,401 | | |
| 器具備品費(事業) | 736,258 | | |
| 修繕費(事業) | 597,020 | | |
| 賃借料(事業) | 154,562 | | |
| 減価償却費(事業) | 95,999 | | |
| 保険料(事業) | 120,834 | | |
| 諸会費(事業) | 5,200 | | |
| 調査研究費(事業) | 26,000 | | |
| 支払手数料(事業) | 16,431 | | |
| 広告宣伝費(事業) | 5,400 | | |
| 販売仕入(事業) | 347,681 | | |
| 雑費(事業) | 28,500 | | |
| その他経費計 | 10,367,713 | | |
| 事業費計 | | 10,367,713 | |
| 【管理費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| (その他経費) | | | |
| 印刷製本費 | 17,692 | | |
| 業務委託費 | 100,000 | | |
| 通信運搬費 | 144,367 | | |
| 消耗品費 | 31,034 | | |
| 水道光熱費 | 144,270 | | |
| 地代家賃 | 972,000 | | |
| 諸会費 | 28,210 | | |
| 租税公課 | 1,700 | | |
| 収入印紙 | (1,100) | | |
| その他補助 | (600) | | |
| 支払手数料 | 30,669 | | |

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2018年 7月 1日 至 2019年 6月30日

| | | |
|--------------|-----------|------------|
| その他経費計 | 1,469,942 | |
| 管理費 計 | | 1,469,942 |
| 経常費用 計 | | 11,837,655 |
| 当期経常増減額 | | 456,660 |
| 【経常外収益】 | | |
| 経常外収益 計 | | 0 |
| 【経常外費用】 | | |
| 経常外費用 計 | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額 | | 456,660 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 74,500 |
| 当期正味財産増減額 | | 382,160 |
| 前期繰越正味財産額 | | 11,896,140 |
| 次期繰越正味財産額 | | 12,278,300 |

貸借対照表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2019年 6月30日 現在

| 資 産 の 部 | | 負 債 ・ 正 味 財 産 の 部 | |
|---------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【流動資産】 | | 【流動負債】 | |
| (現金・預金) | | 未 払 金 | 335,344 |
| 普通 預金 | 12,074,824 | 前 受 金 | 600,000 |
| 現金・預金 計 | 12,074,824 | 納税充当金 | 74,500 |
| (売上債権) | | 流動負債 計 | 1,009,844 |
| 未 収 金 | 600,000 | 負債合計 | 1,009,844 |
| 売上債権 計 | 600,000 | 正 味 財 産 の 部 | |
| (その他流動資産) | | 【正味財産】 | |
| 前払 費用 | 81,000 | 前期繰越正味財産額 | 11,896,140 |
| その他流動資産 計 | 81,000 | 当期正味財産増減額 | 382,160 |
| 流動資産合計 | 12,755,824 | 正味財産 計 | 12,278,300 |
| 【固定資産】 | | 正味財産合計 | 12,278,300 |
| (有形固定資産) | | | |
| 機械及び装置 | 216,740 | | |
| 有形固定資産 計 | 216,740 | | |
| (無形固定資産) | | | |
| 電話加入権 | 89,880 | | |
| 無形固定資産 計 | 89,880 | | |
| (投資その他の資産) | | | |
| 敷 金 | 225,700 | | |
| 投資その他の資産 計 | 225,700 | | |
| 固定資産合計 | 532,320 | | |
| 資産合計 | 13,288,144 | 負債及び正味財産合計 | 13,288,144 |

財 産 目 録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2019年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

| | | | |
|----------------|--|-------------|--|
| 普通 預金 | | 12,074,824 | |
| 横浜銀行 (島村) | | (1,793,608) | |
| 横浜銀行 (はまどま) | | (1,000) | |
| 横浜銀行 (竹) | | (1,000) | |
| 横浜銀行 (ヤマ) | | (172,843) | |
| 横浜銀行 (吉武) | | (92,836) | |
| 横浜銀行 (本部) | | (5,001,000) | |
| 横浜銀行本郷台支店 (本部) | | (2,389,816) | |
| ゆうちょ銀行宿町 (どま) | | (307,938) | |
| ゆうちょ銀行振替 | | (2,314,783) | |
| 現金・預金 計 | | 12,074,824 | |

(売上債権)

| | | | |
|--------|--|---------|--|
| 未 収 金 | | 600,000 | |
| 売上債権 計 | | 600,000 | |

(その他流動資産)

| | | | |
|-----------|--|--------|--|
| 前払 費用 | | 81,000 | |
| その他流動資産 計 | | 81,000 | |

流動資産合計

12,755,824

【固定資産】

(有形固定資産)

| | | | |
|----------|--|---------|--|
| 機械及び装置 | | 216,740 | |
| 有形固定資産 計 | | 216,740 | |

(無形固定資産)

| | | | |
|----------|--|--------|--|
| 電話加入権 | | 89,880 | |
| 無形固定資産 計 | | 89,880 | |

(投資その他の資産)

| | | | |
|------------|--|---------|--|
| 敷 金 | | 225,700 | |
| 投資その他の資産 計 | | 225,700 | |

固定資産合計

532,320

資産の部 合計

13,288,144

《負債の部》

【流動負債】

| | | | |
|--------|--|-----------|--|
| 未 払 金 | | 335,344 | |
| 前 受 金 | | 600,000 | |
| 納税充当金 | | 74,500 | |
| 流動負債 計 | | 1,009,844 | |

負債の部 合計

1,009,844

1,009,844

正味財産

12,278,300

第19期(2018.7.1-2019.6.30.予算実績表

| 勘定科目名称 | 予算 | 実績 | 差額 (実績-予算) |
|--------------|------------|------------|---------------|
| 《経常増減の部》 | | | |
| 【経常収益】 | | | |
| 【受取会費】 | | | |
| 運営会員受取会費 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 一般会員受取会費 | 150,000 | 123,000 | △ 27,000 |
| 賛助会員受取会費 | 40,000 | 0 | △ 40,000 |
| 受取会費 計 | 370,000 | 303,000 | △ 67,000 |
| 【受取寄付金】 | | | |
| 受取寄付金 | 1,100,000 | 1,499,369 | 399,369 |
| 受取寄付金 計 | 1,100,000 | 1,499,369 | 399,369 |
| 【受取助成金等】 | | | |
| 受取助成金 | 2,050,000 | 1,250,000 | △ 800,000 |
| 受取助成金等 計 | 2,050,000 | 1,250,000 | △ 800,000 |
| 【事業収益】 | | | |
| 自主事業収益 | 2,250,000 | 2,945,600 | 695,600 |
| 販売事業収益 | 80,000 | 446,562 | 366,562 |
| 受託事業収益 | 3,800,000 | 5,504,092 | 1,704,092 |
| 事業収益 計 | 6,130,000 | 8,896,254 | 2,766,254 |
| 【その他収益】 | | | |
| 受取 利息 | 0 | 92 | 92 |
| 雑 収 益 | 350,000 | 345,600 | △ 4,400 |
| その他収益 計 | 350,000 | 345,692 | △ 4,308 |
| 経常収益 計 | 10,000,000 | 12,294,315 | 2,294,315 |
| 【経常費用】 | | | |
| 【事業費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 |
| (その他経費) | | | |
| 業務委託費(事業) | 3,800,000 | 4,079,200 | 279,200 |
| 諸 謝 金(事業) | 1,200,000 | 1,987,460 | 787,460 |
| 印刷製本費(事業) | 50,000 | 62,982 | 12,982 |
| 会 議 費(事業) | 10,000 | 5,575 | △ 4,425 |
| 旅費交通費(事業) | 60,000 | 104,920 | 44,920 |
| 通信運搬費(事業) | 10,000 | 8,290 | △ 1,710 |
| 消耗品 費(事業) | 2,000,000 | 1,985,401 | △ 14,599 |
| 器具備品費(事業) | 550,000 | 736,258 | 186,258 |
| 修 繕 費(事業) | 0 | 597,020 | 597,020 |
| 賃 借 料(事業) | 200,000 | 154,562 | △ 45,438 |
| 減価償却費(事業) | 150,000 | 95,999 | △ 54,001 |
| 保 険 料(事業) | 100,000 | 120,834 | 20,834 |
| 諸 会 費(事業) | 0 | 5,200 | 5,200 |
| 調査研究費(事業) | 40,000 | 26,000 | △ 14,000 |
| 支払手数料(事業) | 10,000 | 16,431 | 6,431 |
| 広告宣伝費(事業) | 30,000 | 5,400 | △ 24,600 |
| 販売仕入(事業) | 60,000 | 347,681 | 287,681 |
| 雑 費(事業) | 10,000 | 28,500 | 18,500 |
| その他経費計 | 8,280,000 | 10,367,713 | 2,087,713 |
| 事業費 計 | 8,280,000 | 10,367,713 | 2,087,713 |
| 【管理費】 | | | |
| (人件費) | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 |
| (その他経費) | | | |
| 印刷製本費 | 0 | 17,692 | 17,692 |
| 業務委託費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 100,000 | 144,367 | 44,367 |
| 消耗品 費 | 50,000 | 31,034 | △ 18,966 |
| 水道光熱費 | 120,000 | 144,270 | 24,270 |
| 地代 家賃 | 972,000 | 972,000 | 0 |
| 諸 会 費 | 20,000 | 28,210 | 8,210 |
| 慶 弔 費 | 0 | 0 | 0 |
| 租税 公課 | 5,000 | 1,700 | △ 3,300 |
| 支払手数料 | 33,000 | 30,669 | △ 2,331 |
| 支払寄付金 | 0 | 0 | 0 |
| 交際費 | 15,000 | 0 | △ 15,000 |
| 雑 費 | 5,000 | 0 | △ 5,000 |
| その他経費計 | 1,420,000 | 1,469,942 | 49,942 |
| 管理費 計 | 1,420,000 | 1,469,942 | 49,942 |
| 経常費用 計 | 9,700,000 | 11,837,655 | 2,137,655 |
| 当期経常増減額 | 300,000 | 456,660 | 156,660 |
| 《経常外増減の部》 | | | |
| 【経常外収益】 | | | |
| 経常外収益 計 | 0 | 0 | 0 |
| 【経常外費用】 | | | |
| 経常外費用 計 | 0 | 0 | 0 |
| 《正味財産増減の部》 | | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 300,000 | 456,660 | 156,660 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | 74,500 | 0 |
| 当期正味財産増減額 | 225,500 | 382,160 | 156,660 |

第19期(2018.7.1-2019.6.30)部門別集計表

| | 全事業所 | 事務局 | 広報 | ヤマ(合計) | ヤマ(自主) | ヤマ(販売) | ムラ | 受託 |
|--------------|------------|---------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 《経常増減の部》 | | | | | | | | |
| 【経常収益】 | | | | | | | | |
| 【受取会費】 | | | | | | | | |
| 運営会員受取会費 | 180,000 | 180,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般会員受取会費 | 123,000 | 123,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 賛助会員受取会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取会費 計 | 303,000 | 303,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【受取寄付金】 | | | | | | | | |
| 受取寄付金 | 1,499,369 | 154,369 | 0 | 1,124,000 | 1,124,000 | 0 | 221,000 | 0 |
| 受取寄付金 計 | 1,499,369 | 154,369 | 0 | 1,124,000 | 1,124,000 | 0 | 221,000 | 0 |
| 【受取助成金等】 | | | | | | | | |
| 受取助成金 | 1,250,000 | 0 | 0 | 600,000 | 600,000 | 0 | 350,000 | 300,000 |
| 受取助成金等 計 | 1,250,000 | 0 | 0 | 600,000 | 600,000 | 0 | 350,000 | 300,000 |
| 【事業収益】 | | | | | | | | |
| 自主事業収益 | 2,945,600 | 0 | 0 | 79,500 | 79,500 | 0 | 2,782,100 | 84,000 |
| 販売事業収益 | 446,562 | 0 | 0 | 446,562 | 0 | 446,562 | 0 | 0 |
| 受託事業収益 | 5,504,092 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 5,484,092 |
| 事業収益 計 | 8,896,254 | 0 | 0 | 526,062 | 79,500 | 446,562 | 2,802,100 | 5,568,092 |
| 【その他収益】 | | | | | | | | |
| 受取 利息 | 92 | 68 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 21 |
| 雑 収 益 | 345,600 | 3,600 | 0 | 41,000 | 41,000 | 0 | 0 | 301,000 |
| その他収益 計 | 345,692 | 3,668 | 0 | 41,001 | 41,001 | 0 | 2 | 301,021 |
| 経常収益 計 | 12,294,315 | 461,037 | 0 | 2,291,063 | 1,844,501 | 446,562 | 3,373,102 | 6,169,113 |
| 【経常費用】 | | | | | | | | |
| 【事業費】 | | | | | | | | |
| (人件費) | | | | | | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (その他経費) | | | | | | | | |
| 業務委託費(事業) | 4,079,200 | 0 | 0 | 368,400 | 368,400 | 0 | 0 | 3,710,800 |
| 諸 謝 金(事業) | 1,987,460 | 0 | 0 | 565,000 | 565,000 | 0 | 107,000 | 1,315,460 |
| 印刷製本費(事業) | 62,982 | 0 | 9,460 | 3,968 | 3,968 | 0 | 1,170 | 48,384 |
| 会議費(事業) | 5,575 | 0 | 0 | 5,575 | 5,575 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費交通費(事業) | 104,920 | 0 | 0 | 92,820 | 92,820 | 0 | 0 | 12,100 |
| 通信運搬費(事業) | 8,290 | 0 | 8,290 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品 費(事業) | 1,985,401 | 0 | 0 | 278,322 | 278,322 | 0 | 1,680,676 | 26,403 |
| 器具備品費(事業) | 736,258 | 0 | 0 | 154,440 | 154,440 | 0 | 581,818 | 0 |
| 修 繕 費(事業) | 597,020 | 0 | 0 | 88,020 | 88,020 | 0 | 509,000 | 0 |
| 賃借料(事業) | 154,562 | 0 | 0 | 54,500 | 54,500 | 0 | 1,458 | 98,604 |
| 減価償却費(事業) | 95,999 | 0 | 0 | 95,999 | 95,999 | 0 | 0 | 0 |
| 保 険 料(事業) | 120,834 | 0 | 0 | 54,484 | 54,484 | 0 | 66,350 | 0 |
| 諸 会 費(事業) | 5,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,200 | 0 |
| 調査研究費(事業) | 26,000 | 0 | 0 | 26,000 | 26,000 | 0 | 0 | 0 |
| 支払手数料(事業) | 16,431 | 0 | 864 | 7,830 | 7,830 | 0 | 987 | 6,750 |
| 広告宣伝費(事業) | 5,400 | 0 | 5,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業仕入(事業) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 販売仕入(事業) | 347,681 | 0 | 0 | 347,681 | 0 | 347,681 | 0 | 0 |
| 雑費(事業) | 28,500 | 0 | 0 | 28,500 | 28,500 | 0 | 0 | 0 |
| その他経費計 | 10,367,713 | 0 | 24,014 | 2,171,539 | 1,823,858 | 347,681 | 2,953,659 | 5,218,501 |
| 事業費 計 | 10,367,713 | 0 | 24,014 | 2,171,539 | 1,823,858 | 347,681 | 2,953,659 | 5,218,501 |
| 【管理費】 | | | | | | | | |
| (人件費) | | | | | | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (その他経費) | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | 17,692 | 17,692 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 業務委託費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 144,367 | 27,191 | 0 | 0 | 0 | 0 | 41,012 | 76,164 |
| 消耗品 費 | 31,034 | 31,034 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 水道光熱費 | 144,270 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,495 | 93,775 |
| 地代 家賃 | 972,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 340,200 | 631,800 |
| 諸 会 費 | 28,210 | 28,210 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調査研究費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 慶 弔 費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 租税 公課 | 1,700 | 1,700 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払手数料 | 30,669 | 30,669 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 交際費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑 費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他経費計 | 1,469,942 | 236,496 | 0 | 0 | 0 | 0 | 431,707 | 801,739 |
| 管理費 計 | 1,469,942 | 236,496 | 0 | 0 | 0 | 0 | 431,707 | 801,739 |
| 経常費用 計 | 11,837,655 | 236,496 | 24,014 | 2,171,539 | 1,823,858 | 347,681 | 3,385,366 | 6,020,240 |
| 当期経常増減額 | 456,660 | 224,541 | -24,014 | 119,524 | 20,643 | 98,881 | -12,264 | 148,873 |
| 《経常外増減の部》 | | | | | | | | |
| 【経常外収益】 | | | | | | | | |
| 経常外収益 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【経常外費用】 | | | | | | | | |
| 経常外費用 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 《正味財産増減の部》 | | | | | | | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 456,660 | 224,541 | -24,014 | 119,524 | 20,643 | 98,881 | -12,264 | 148,873 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | 74,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期正味財産増減額 | 382,160 | 150,041 | -24,014 | 119,524 | 20,643 | 98,881 | -12,264 | 148,873 |
| 前期繰越正味財産額 | 11,896,140 | | | | | | | |
| 次期繰越正味財産額 | 12,278,300 | | | | | | | |

| | 1期 | 2期 | 3期 | 4期 | 5期 | 6期 | 7期 | 8期 | 9期 | 10期 | 11期 | 12期 | 13期 | 14期 | 15期 | 16期 | 17期 | 18期 | 19期 |
|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 当期収入合計 | 4,621,720 | 12,870,110 | 26,665,134 | 23,441,202 | 25,388,933 | 15,340,924 | 7,073,146 | 8,353,397 | 14,124,559 | 6,015,724 | 8,144,031 | 9,028,688 | 5,740,368 | 3,059,831 | 5,476,031 | 7,618,622 | 12,793,622 | 10,739,653 | 12,294,315 |
| 当期支出合計 | 4,069,334 | 11,958,894 | 22,183,755 | 24,566,731 | 21,946,163 | 18,671,515 | 10,380,333 | 6,945,653 | 11,174,072 | 6,632,562 | 7,952,628 | 7,644,055 | 5,260,556 | 3,601,404 | 4,984,237 | 6,702,194 | 10,669,060 | 9,256,409 | 11,912,155 |
| 当期収支差額 | 552,386 | 911,216 | 4,481,379 | -1,125,529 | 3,442,770 | -3,330,591 | -3,307,187 | 1,407,744 | 2,950,487 | -616,838 | 191,403 | 1,384,633 | 479,812 | -541,573 | 491,794 | 916,428 | 2,124,562 | 1,483,244 | 382,160 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 前期繰越収支差額 | 0 | 552,386 | 1,463,602 | 5,944,981 | 4,819,452 | 8,262,222 | 4,931,631 | 1,624,444 | 3,032,188 | 5,982,675 | 5,365,837 | 5,557,240 | 6,941,873 | 7,421,685 | 6,880,112 | 7,371,906 | 8,288,334 | 10,412,896 | 11,896,140 |
| 次期繰越収支差額 | 552,386 | 1,463,602 | 5,944,981 | 4,819,452 | 8,262,222 | 4,931,631 | 1,624,444 | 3,032,188 | 5,982,675 | 5,365,837 | 5,557,240 | 6,941,873 | 7,421,685 | 6,880,112 | 7,371,906 | 8,288,334 | 10,412,896 | 11,896,140 | 12,278,300 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 自主事業参加者数 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 836 | 1,063 | 1,158 | 1,240 | 1,505 | 2,144 | 2,111 | 2,241 | 2,569 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

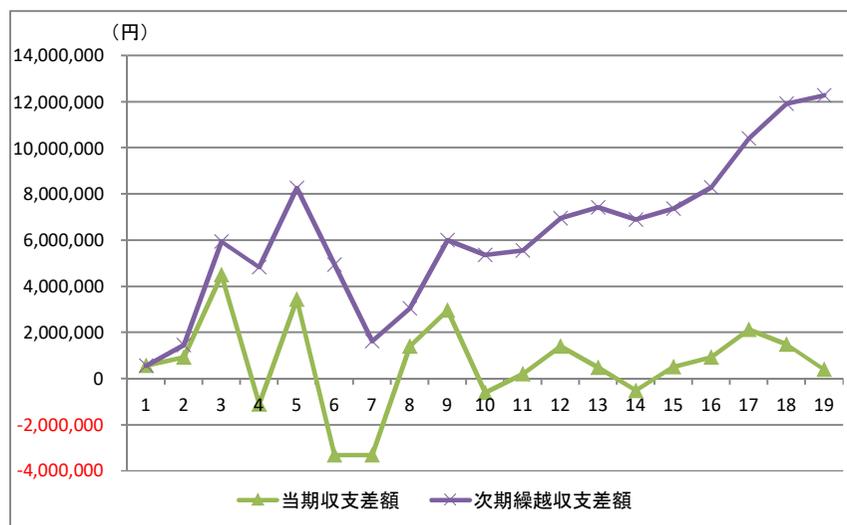


図 当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

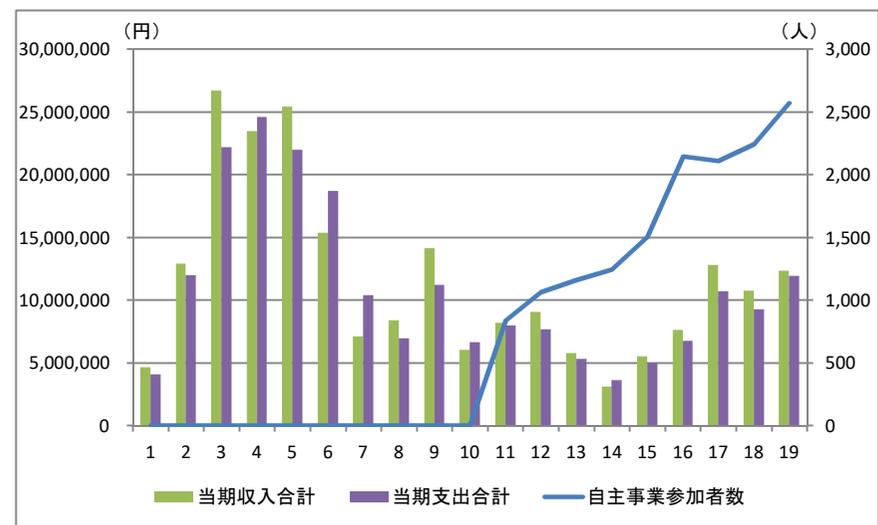


図 当期収入合計および当期支出合計の推移

第3号議案 第20期事業計画（2019年7月～2020年6月）

第20期にNORAは設立20周年を迎える。これまでの活動を振り返り、これからのNORAのこと、里山のことを考えるのに適当な時期である。

近年、NORAは健全な財務状況を保ち、主催事業への参加者数は堅調に増加してきた。しかし、数の増加は、街の近くの里山生態系を豊かにするとともに、人びとの暮らしの質も高めるというミッションにつながっているのだろうか。NORAの活動の成果として、「里山とかかわる暮らし」の価値を高め、都市に諸問題の解決にも貢献できているのだろうか。かりに、その成果が着実に上がっているとして、それは誰の目にも見えるようなかたちで表現されているのだろうか。

こうした問題意識を持って、NORAは20周年という節目に、あらためて団体の存在理由を確認し、長期的な視点になった事業計画を立てることにする。2015年に国連が採択したSDGsは2030年の達成を目標としていることから、NORAもこの流れに棹さして、2030年を目標年に定めた中長期計画を作成する。なお、運営に関わる中心的なメンバーは固定化してきており、構造的な変化が必要となっていることから、中長期計画では、運営体制の再考も含むものとなる。

中長期計画づくりを着実に進めるために、今期は定期的にNORAサロンを開催する。これは、おもにNORAの理事が話題提供者となって、これまで各自が活動を通して考えてきたことや今後の展望について語り、参加者とともに議論を深める中から向かうべき道を探り当て、中長期計画に役立てるものである。

一方、現在進行形の「はまどま改革」については、「はまどま寄り合い」での話し合いを尊重しつつ、第2期改修工事と運営体制の再構築をおこなう。地域の方々と有機的な連携を図りながら持続的な運営を図ることにより、「街中の里山の入り口」としての機能を高め、社会課題の解決や価値創造につなげたい。

また、このように蒔田地区をモデルとした場づくりを進めると同時に、多摩・三浦丘陵群の里山を視野に入れた活動にも取り組みたい。そのために、広域的に取り組むべき共通課題を見出し、その課題に対して協働して取り組める人・団体とネットワークをつくり、情報交換・共有を進めていく。そして、里山をモデルとして多様性と持続性を大事にしながら活動を展開し、「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかすシゴトづくり」の輪を拡げていきたい。

自主事業

1. ヤマ事業

- 1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 3) よこはま里山レンジャーズ {別紙計画書のとおり}
- 4) 里山保全ボランティアの安全技能研修 {別紙計画書のとおり}
- 5) 山道具の安全使用

里山保全活動を安全かつ環境に配慮して進めることができるように、適切な機資材の販売、修繕を行う。

- 6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり {別紙計画書のとおり}

2. ノラ事業

- 1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

- 1) はまどまプロジェクト
 - (1) NORA 野菜市 {別紙計画書のとおり}
 - (2) 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会 {別紙計画書のとおり}
 - (3) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}

(4) 里山の恵みと民俗映画の会 {別紙計画書のとおり}

(5) はまどま諸々 {別紙計画書のとおり}

はまどまで土間仕事／季節の素材でスイーツメイキング／お香のてならい／心も体も元気に季節の菓
膳食事会／旬の神奈川野菜でトルコ料理を作ろう！／四季の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ

(6) そのほか

choji ライブ、紙芝居と民話の部屋など、会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参
加者と学び合ったりする活動を推進する。

2) 地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花1・2丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田
地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。また、まいたエコサロンの会、横浜コミュニティカフェネ
ットワークの一員として、ネットワーク活動に協力する。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2019年秋、伊勢佐木町商店街のエコイベントに参加するかたちで「地モノ市」を開催する。

2) NORA サロン～NORA 理事が語る SATOYAMA {別紙計画書のとおり}

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪 {別紙計画書のとおり}

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として、森里川海との連携を図り、生物多様性の保全に繋がる活動をおこなう。

6. 広報事業

1) ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNS による情報発信

ウェブサイトの更新頻度を上げるために、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進め、更新作
業のルーティン化を図る。サイトの更新と連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジ
ン」を配信して、効果的に NORA や里山に関する情報を発信する。また、SNS (Twitter・Facebook) を利用
して、柔軟に迅速に情報を発信するとともに、ウェブサイトとの相乗効果を高める。

2) 活動報告書の作成

2019年末に NORA の活動の近況を伝えることを目的として、活動報告書を作成する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受
入は、可能な限り引き受ける。

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|---|--|------|
| プロジェクト名 | NORAの山仕事 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 中林博志、大嶋邦佳 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる ・森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・林内に蓄積してしまった廃材の処理を促進する。 ・苗場エリアの整備(山野草花壇の増設など)を進める。 ・若葉台第3住宅管理組合の植栽管理業務を継続させる。 ・メンバーのスキルを向上させる。 ・参加者が快適に森で作業できる環境を整える。 | | |
| 内容 | 常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用したりしている。 | | |
| 日時 | 定例活動:第2・第4日曜日/やま守り編:第1・第3土曜日 活動時間 10:00～16:00 | | |
| 場所 | 旭区下川井町 特別緑地保全地区 | | |
| 年間スケジュール | 10:00 川井緑地に集合 ミーティングを行い作業内容、使用する道具を確認 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散 | | |
| 一般募集の有無 | 有 (NORA メルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | @500円(グリーンボランティア保険加入料として) | | |
| 収入見込額(a) | 参加費・寄付金収入 400,000円 資材販売収入 30,000円 繰越金 0円 <計> 430,000円 | 11月・1月・3月・6月(若葉台) | |
| 支出見込額(b) | グリーンボランティア保険 60,000円 委託費 120,000円 資機材購入費 70,000円 消耗品費 80,000円 修繕費 100,000円 <計> 430,000円 | @3,000円×20回 @10,000円×12か月 ソーチェーンなど 燃料・工具修理等 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月14日 | 作成者名 | 下山康博 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|-------------|------|
| プロジェクト名 | 竹を活かす山仕事 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 小林準治、三宅健也 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れをおこなう。 ・竹林整備を行なうことで、恵ある里山の生態系を維持する。 ・整備活動によって排出された竹材を有効活用する。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る。 ・民有地の竹林整備を継続する。 ・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備をおこなう。 ・横浜市内で生産性を望める竹林を探す。 | | |
| 内容 | 南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業をおこなう。切り出した竹は、竹ひご作りの練習用に用いたり、カトラリーを製作する材料として活用したりする。 | | |
| 日時 | 毎月第3日曜日 10:00～15:00 ※8月、9月は中井町での伐り出し作業は無し | | |
| 場所 | 南足柄郡中井町 | | |
| 年間スケジュール | 9:00 京浜急行 上大岡駅集合(10:00 セブンイレブン下曾我店) 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散 | | |
| 一般募集の有無 | 有 (NORA メルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | @500円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 40,000円 寄付金 10,000円 <計> 40,000円 | @500円×8×10回 | |
| 支出見込額(b) | 交通費 30,000円 物品費 20,000円 <計> 50,000円 | @3,000円×10回 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月14日 | 作成者名 | 下山康博 |

| | | | |
|---------------|---|----------|--------------|
| プロジェクト名 | よこはま里山レンジャーズ | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 島村雅英 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林) | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、環境活動団体の活性化を支援する。 ・レンジャーズ活動が推進される。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズをのべ10回、里山等保全活動に派遣する。 ・活動をとおりて運営スタッフやレンジャーリーダーとなりうる人材を育成する。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所や指定管理者などからの活動資金提供を模索しながら、自然環境復元協会と連携して、レンジャーズを派遣する。 ・企業レンジャーズの受け入れにより、資金調達をおこなう | | |
| 日時 | <ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズ派遣:月1回程度 週末 ・企業レンジャーズ:不定期 | | |
| 場所 | レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照) | | |
| 年間スケジュール | レンジャーズ派遣:活動計画づくり3月、レンジャーズ派遣7月～6月(除く8月) 7月20日(土)新治の谷戸田 土手の草刈り 9月22日(日)桜ヶ丘緑地 里山のお手入れ 10月26日(土)瀬上市民の森 ヤマアカガエルの産卵する水辺のヨシ刈り 11月10日(日)恩田の谷戸 収穫祭 脱穀・舂すり 11月30日(土)瀬上市民の森 ホタルの舞う小川の整備(低木の枝おろしや草刈り) 12月22日(日)川井緑地 里山のお手入れ 2月9日(日)瀬上市民の森 里山林再生の樹林地活動(予備) 3月8日(日)川井緑地 里山のお手入れ 5月新治の谷戸田、6月元町公園ブルー予定 | | |
| 一般募集の有無 | レンジャー登録を原則、1回あたり10～20人 レンジャー登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ | | |
| 参加費の有無 | 無料 | | |
| 収入見込額(a) | 事業収入 | 100,000円 | 企業レンジャーの受け入れ |
| | <計> | 100,000円 | |
| 支出見込額(b) | 謝金(リーダー派遣) | 50,000円 | @5000円×10回 |
| | 謝金(企業レンジャー対応) | 50,000円 | |
| | <計> | 100,000円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | レンジャー名簿管理:自然環境復元協会 受け入れ団体:恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまのりの会、にいほる「わ」を広げる会、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、横浜にとんぼを育てる会 | | |
| 作成年月日 | 2019年8月18日 | 作成者名 | 島村雅英 |

| | | | |
|---------------|--|----------|-------------------|
| プロジェクト名 | 里山保全ボランティアの安全技能研修 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 島村雅英 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | プロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林) | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動における事故を防止する ・安全技術の習得と向上を図る。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・里山等で活動するボランティアや主催者の安全意識が向上する。 ・事故を未然に防ぐことができる。 ・里山保全ボランティアの安全技能研修を4回(各回定員10名)開催する。 | | |
| 内容 | 外部講師を招いた安全技能研修を開催する。 | | |
| 日時 | 9月、11/24、12/8、1/26、4月 (年間スケジュール参照) | | |
| 場所 | 川井緑地、新治里山公園等 | | |
| 年間スケジュール | 9月 里山保全活動におけるリスクアセスメントとリスクマネージメント 11月24日(日)里山保全活動で使うロープワーク、ハーネスの使い方(実習) 12月8日(日)手道具による里山保全:ノコ、ナタ、カマ等の安全な使い方(講習・実習) 1月26日(日)ロープワークによる伐木(実習) 4月以降 チェーンソーのメンテナンスと基本動作 | | |
| 一般募集の有無 | 有(1回あたり10人) | | |
| 参加費の有無 | 無料 | | |
| 収入見込額(a) | 助成金 | 220,000円 | 緑の募金 |
| | 参加費 | 40,000円 | @1,000円×40人 |
| | <計> | 260,000円 | |
| 支出見込額(b) | 講師謝金 | 150,000円 | @30,000円×5回 |
| | チラシデザイン・印刷 | 30,000円 | |
| | 事務費 | 80,000円 | 資料等印刷、消耗品、スタッフ人件費 |
| | <計> | 260,000円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | モリダス | | |
| 作成年月日 | 2019年8月18日 | 作成者名 | 島村雅英 |

| | | | |
|------------|--|---|-------------------|
| プロジェクト名 | まちの近くで里山をいかすシゴトづくり | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 松村正治 | | |
| スタッフ | 島村雅英、吉武美保子 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・里山シゴトづくりに関する人や団体等のネットワークをつくる。 ・里山をいかすビジネスモデルと経済倫理を考える。 ・里山をいかすシゴトづくりのための仕組みづくりと環境整備をおこなう。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は全体で160名(一般140名、ゲスト20名)を目標とする。 ・メンバー登録者数を150名まで増やす。 ・里山コネクト掲載団体を、10団体増やす。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践ゼミ3回開催:テーマは広葉樹利用、養蜂、CSA・農福連携、リモートワークなど ・倫理ゼミ1回開催:フットパス、トレイルランニング ・シンポジウム1回開催:里山観光のガバナンス ・フォーラム1回開催:里山団体の交流 | | |
| 日時 | 休日および平日夜間 | | |
| 場所 | 新治里山公園、多摩グリーンライブセンター、地球環境パートナーシップオフィスなど | | |
| 年間スケジュール | 10～1月:実践ゼミ開催 2月:倫理ゼミ、シンポジウム開催 3～4月:フォーラム開催 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 寄付金 参加費 <計> | 330,000円 70,000円 400,000円 | @500円×140人 |
| 支出見込額(b) | 講師謝金 デザイン・印刷 事務費 <計> | 250,000円 50,000円 100,000円 400,000円 | 資料等印刷、消耗品、スタッフ人件費 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | 株式会社かんぼ生命保険から寄付金を活用 | | |
| 作成年月日 | 2019年8月20日 | 作成者名 | 松村正治 |

| | | | |
|------------|--|---|---|
| プロジェクト名 | 森と畑と音楽と | | |
| カテゴリー | ノラ | | |
| リーダー | 中川櫛 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。 ・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。 ・山仕事で出てくる木材の保管および製材・加工場所として活用する。 ・常時作付けが可能なように土地を管理する。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保 ・マーケットやマルシェなど生産物の消費先(販路)の拡大 ・畑の効率的な利用方法の検討および実践 ・福祉との連携を目指し、地域福祉施設とのかかわりを積極的にもつ | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・農地管理(草刈り・草取り・耕耘) ・作物の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫) ・収穫体験の実施 ・活動場所で採れた野菜を使った料理 ・林産物や伐採樹木の活用 ・子ども向け環境教育の実施 ・音楽会の実施 ・クラフト全般(おもに木工。電動工具も使用可能) | | |
| 日時 | 基本的に毎週日曜日10:00～17:00(土曜日活動になることもあり:要連絡) | | |
| 場所 | 厚木市七沢・伊勢原市日向 | | |
| 年間スケジュール | 7月:収穫作業、草刈り、種まき、田んぼの草取り 8月:夏野菜収穫、草刈り、畝作り、種まき・苗植え付け、水田草取り 9月:草取り、苗植え付け、種まき 10月:草刈り、草取り、収穫作業、稲刈り 11月中旬:収穫祭 11～2月:収穫作業、クラフト(伐採した木材等の活用) 2～3月:耕耘・クラフト 3月:こども自然体験プログラム(川遊び・昼食作り) 4月:種まき 中旬～下旬 草刈り、耕運、施肥 5月:苗植え付け、種まき、草刈り・畝作り、水田のための用水路清掃 4～6月:種まき、苗植え(サツマイモ)、草刈り 6月、田植え(田植え体験) | | |
| 一般募集の有無 | 有(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | 有(参加プログラムによる) | | |
| 収入見込額(a) | 農業体験委託 体験参加費 <計> | 30,000円 100,000円 130,000円 | @1,000×100人・回 |
| 支出見込額(b) | 購入費 借地料 燃料代ほか <計> | 70,000円 30,000円 30,000円 130,000円 | 種苗40,000円、肥料10,000円、資材20,000円 地主3名へのお礼 ガソリン・オイル代20,000円、雑費10,000円 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 令和元年8月11日 | 作成者名 | 中川 櫛 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|---|------|-----|
| プロジェクト名 | NORA 野菜市 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 三好豊 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 田島里美・滝口仁志 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流できる神奈川県内の生産者の作物を中心に、その利用を広げる。 ・身近な神奈川で生産できる作物を知らせる。 ・今後、予想される農業・食糧の危機に対処する意識の醸成をはかる。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続できる体制の工夫 ・試食とポップを強化 ・フライヤー配布・宣伝行動 | | |
| 内容 | 神奈川県内の生産者の作物を販売しながら、農業・食糧に関わる情報の発信。 | | |
| 日時 | <ul style="list-style-type: none"> ・火曜日 17:00～19:00 ・土曜日 18:00～ はまどま分け合い・土間仕事 | | |
| 場所 | 大和ビル駐車場 | | |
| 年間スケジュール | 8月13日(火)・20日(火)・1月7日(火)は休み 祝日は原則休み | | |
| 一般募集の有無 | 無 | | |
| 参加費の有無 | 無 | | |
| 収入見込額(a) | | | |
| 支出見込額(b) | | | |
| 収支見込額(a-b) | 神奈川・緑の劇場から、はまどま運営費として年間 300,000 円寄付 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2018年8月13日 | 作成者名 | 三好豊 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|-----------------------------------|------------------|
| プロジェクト名 | 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 三好豊 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 服部典子(作りたい人、随時募集) | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜市に出荷している生産者の野菜を使った食事会。 ・農業・食糧に関わる情報の提供・交換。 ・今後、予想される農業・食糧の危機に対処する意識の醸成を図る。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真など映像での記録と公開。 ・代表的な献立のレシピ公開。 ・翌月の農産物情報 ・生産者と利用者のコミュニケーション密度を高める。 | | |
| 内容 | 季節の農産物・特徴ある農産物を中心にした料理づくりを充実させる。おいしさの追求。 | | |
| 日時 | 原則的に第1土曜日開催(ただし、他の企画との関係で変更あり) 18:00 食べ始め、20:00 閉会 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 月1回開催、原則第1土曜日 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 100,000 円 100,000 円 | @1,000 円×10人×10回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 50,000 円 50,000 円 100,000 円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月13日 | 作成者名 | 三好豊 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|---|----------|-----------------|
| プロジェクト名 | もったいないから竹細工 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 講師:山口和美 アシスタント:小田切一郎・小林準治・只野和晴・三宅健也 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・竹林整備で排出された竹材を有効活用する・ ・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る・ ・竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う・ | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンセル待ちを解消する為に、竹かご教室の作品を7作品から5作品にする。 ・竹かご教室の参加費に、別途材料代を徴収する。 ・はまどま家賃の不足分を捻出する為に、リピーターに一般会員への入会を促す。 ・初参加者のためにトライアル料金を設定する。 ・キャンセルを軽減させるために、いちねん坊主の参加費を一括徴収する。 ・いちねん坊主の実施を半年に1回づつ、年度内に2期実施する。 | | |
| 内容 | いちねん坊主工房:1つ嗜好性の高い作品を、竹ひごの準備から一年かけて製作する。 竹かご教室:7作品(全12回)にて一区切りをつけ、修了後は工房作業への参加を促す。 竹細工工房:竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等WSをおこなう。 | | |
| 日時 | 毎月第2土曜日(いちねん坊主工房)10:00～12:00 (竹かご教室)13:00～17:00 毎月第1水曜・第3木曜・第4土曜日(工房作業)9:30～12:00/13:00～16:00 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | | | |
| 一般募集の有無 | 有:定員10～12名(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | 1,000～2,500円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費(竹かご教室) | 240,000円 | @2,000円×10×12 |
| | 参加費(竹細工工房) | 720,000円 | @2,000円×10×3×12 |
| | <計> | 960,000円 | |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 | 864,000円 | |
| | はまどま運営費 | 96,000円 | |
| | <計> | 960,000円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月16日 | 作成者名 | 下山康博 |

■NORA 第19期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|------------|--|----------|----------------|
| プロジェクト名 | 里山の恵みと民俗映画の会 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 三好豊・中川美帆 | | |
| 目的 | 日本列島で受け継がれてきた生活の技術、自然との関わり、祭祀などの記録映像を鑑賞し、話し合うことをとおして、現代の暮らし方を考える一助にしたい。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・1日の観客数10名(1日の上映回数にかかわらず) ・「～観る会・広げる会」的な、コアメンバーを募る。 | | |
| 内容 | 原則的には、民族文化映像研究所製作の作品を定期上映する。 神奈川野菜/果物を材料とした食事を提供する。 | | |
| 日時 | 隔月で月曜日に上映、19:00 上映開始 | | |
| 場所 | 9月30日、11月25日、1月27日、3月23日、5月25日 | | |
| 年間スケジュール | はまどま | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 2,000円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 | 100,000円 | @2,000円×10人×5回 |
| | <計> | 100,000円 | |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 | 90,000円 | |
| | はまどま運営費 | 10,000円 | |
| | <計> | 100,000円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | 郷土映像ラボラトリーとの共催 | | |
| 作成年月日 | 2019年8月13日 | 作成者名 | 三好豊 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|------------|---|--------------------------------|-----------------------------------|
| プロジェクト名 | はまどまで土間仕事 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 勝野真美 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節の手作り食品を積極的に生活の中に。 ・買うのは「商品」から「素材」にシフトし、それを吟味する知恵も身に着ける場。 ・時間と手間が作るものは、生きることに直結することを伝えたい。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節と暦に合わせた企画を作る。 ・無理なく、自分の生活の中で活かせるレベルのものを作る。 | | |
| 内容 | 神奈川産の素材を使って季節の保存食を作っていく。 | | |
| 日時 | 2か月に1回程度 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 105,000円 105,000円 | @3,500円×5×6回 ※参加費 3,000～5,000円 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 84,000円 21,000円 100,000円 | @500円×7×6回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 勝野真美 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------------------------|
| プロジェクト名 | 季節の素材でスイーツメイキング | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 山本美香 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 勝野真美 | | |
| 目的 | 神奈川野菜を献立の中で最大限、使用することを目指し、火曜日のNORA野菜市と連動させることで、野菜市のお客さんや、ご近所さんも引き込みつつ、NORAの活動にも興味を持ってもらう。地域との交流も視野に入れ、夏と冬は親子企画での参加を促す。 | | |
| 目標 | 年4回の開催を目指す。 大人5人前後、小学生10名前後を今後呼び込みたい。 | | |
| 内容 | 今期のスイーツメイキングは、特に夏冬は参加型ワークショップ形式にする。(内容はスイーツを中心としたもの)。それ以外はNORA野菜市で販売している旬の神奈川野菜や果物を使ったメニューでスイーツを作成。最後の仕上げは、参加してくださった方に1手間、加えて完成とする。この時に使った野菜は、野菜市で買えますよと購入も促す。 | | |
| 日時 | 2019年8月、12月、2020年3月、5月 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 夏、冬の時期は、平日の昼間、その他の2回は火曜日のNORA野菜市に合わせる。 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 大人2,000円(中学生以上)、子ども1,500円(4歳以上)、4歳未満は無料 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 100,000円 100,000円 | (@2,000円×5+@1,500×10)×4回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 70,000円 30,000円 100,000円 | @500円×15×4回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 勝野真美 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|---------------------------------|---------------|
| プロジェクト名 | お香の手ならい～金曜夜のお香づくり体験 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 粕谷恵(静流) | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | なし | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・お香づくりの中で、個性のあるもの同士を合わせ調和を目指すことを知っていただく。 ・全て天然の原材料のみを使い自然の植物のもつところ、からだに対する作用を感じてもらい、里山、自然、地球へ目を向けるきっかけを目指す。 | | |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等での広報にも力を入れ、活動報告もWEBにアップする。 ・NORAの他活動との連携の中での企画づくり。 ・親子、子ども対象の企画。 | | |
| 内容 | 天然、自然の原料を使い、自分だけのオリジナルの香りのお香作品を作っていたく。 | | |
| 日時 | 金曜日の18:30～20:30(他曜日に変更の可能性もあり) | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 毎月2回 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 420,000円 420,000円 | @3,500円×5×24回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 360,000円 60,000円 420,000円 | @500円×5×24回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 粕谷恵(勝野真美) |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|---------------------------------|---------------|
| プロジェクト名 | 心も体も元気に季節の薬膳食事会 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 内倉和子 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 三好豊、勝野真美 | | |
| 目的 | 季節に応じた食材で、一般的に手に入る身近な食材をメインに、生薬(薬効のある自然物)も少々取り入れ、家でも作れる献立を作る。 | | |
| 目標 | 一緒に作って、食べて、美味しく楽しく養生する。 | | |
| 内容 | 内倉和子さんが習ってきた薬膳料理教室のメニューを基に、神奈川野菜と旬の素材を使って献立を作る。料理から参加と食べるだけ参加のカテゴリーも設けて、参加しやすいようにする。 | | |
| 日時 | 隔月日曜日 10:00～14:00 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 8月25日、10月27日、12月1日、2月 | | |
| 一般募集の有無 | 有(5名でいっぱい) | | |
| 参加費の有無 | 作る人、食べるだけの人共通：2,500円(会員2,000円) 未就学児対象のハーフサイズ：1,000円 ※前売り回数券5回分(有効期限1年)：10,000円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 125,000円 125,000円 | @2,500円×5×10回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 100,000円 25,000円 125,000円 | @500円×5×10回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 勝野真美 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|---------------|
| プロジェクト名 | 旬の神奈川県野菜でトルコ料理を作ろう！ | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 勝野真美 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 大濱裕美、青柳由紀江 | | |
| 目的 | 使う素材が日本と似ているのに、国が違うとここまでメニューが変わる。その面白さと美味しさを、トルコで料理教室を幅広く開催している大濱さんに、トルコの土地や野菜の事情等を聞きながら一緒に作る、食べる。 | | |
| 目標 | 旬の神奈川県野菜とトルコ料理のコラボ。 家に帰っても作れるレシピのファイルとフォロー。 | | |
| 内容 | 神奈川県野菜を使って、まだあまり深く知られていないトルコ料理を手軽に作れるように、大濱先生に教えていただく。夏は親子での開催も視野に。 | | |
| 日時 | | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 大濱先生の帰国のタイミングで、年2回を予定。 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 5,000円(作る人、食べるだけの共通) | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 100,000円 100,000円 | @5,000円×10×2回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 90,000円 10,000円 100,000円 | @500円×10×2回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 勝野真美 |

■NORA 第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---------------|---|---------------------------------|---------------|
| プロジェクト名 | 四季の宴～神奈川県野菜で至福のフレンチ | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 勝野真美 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 國光博敏、北爪彩子 | | |
| 目的 | 食べるだけじゃない、國光さんの持つ野菜への、料理への想いを1皿の上で味わい、聴く会とする。 | | |
| 目標 | 前期、國光さんつながりの生産者の畑での収穫とフレンチのコラボを再開したい。 | | |
| 内容 | 國光シェフが四季の野菜や素材を使って作るフレンチを頂く。 | | |
| 日時 | 年4回を予定。 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 國光シェフのタイミングで、年4回を予定。 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 200,000円 200,000円 | @5,000円×10×4回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費 はまどま運営費 <計> | 180,000円 20,000円 200,000円 | @500円×10×4回 |
| 収支見込額(a-b) | 0円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2019年8月11日 | 作成者名 | 勝野真美 |

■NORA/第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---|--|--|---|
| プロジェクト名 | NORA サロン ～NORA 理事が語る SATOYAMA | | |
| カテゴリー | ハレ | | |
| リーダー | 吉武美保子 | | |
| スタッフ (リーダーを除く) | NORA の理事など | | |
| 目的 (箇条書きで記入) | 設立 20 年を前に、現理事がこれまでに、個々に取り組んできたことをNORAの場で話すことにより、アーカイブとして再確認、新たな発見につなげる。 | | |
| 目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・2 か月に 1 回開催する。 ・記録として残す。 | | |
| 内容 | 1 時間程度の話と、1 時間程度の懇談 | | |
| 日時 | 別途調整 | | |
| 場所 | はまどま、石田邸など | | |
| 年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール) | (今期)10月、12月、2月、4月、6月 | | |
| 一般募集の有無 | 有:定員 20 名 | | |
| 参加費の有無 | 500 円(会員)、1,000 円(非会員) | | |
| 収入見込額(a) | 参加費 <計> | 75,000 円 75,000 円 | (@500×5+@1,000×5)×5 回 会員 5 人、非会員 5 人 |
| 支出見込額(b) | 交通費 謝礼(記録係) 茶菓 はまどま運営費 <計> | 10,000 円 25,000 円 15,000 円 25,000 円 75,000 円 | @2,000 円×5 回 @5,000 円×5 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考(他団体との連携 等を適当に記入) | | | |
| 作成年月日 | 2019 年 8 月 10 日 | 作成者名 | 吉武美保子 |

■NORA/第20期プロジェクト計画書(2019年7月～2020年6月)

| | | | |
|---|--|------|-------|
| プロジェクト名 | 旬の里山探訪 | | |
| カテゴリー | イキモノ | | |
| リーダー | 吉武美保子 | | |
| スタッフ (リーダーを除く) | 新治里山公園運営プロジェクトのメンバー (新治里山「わ」を広げる会への協力) | | |
| 目的 (箇条書きで記入) | 新治の自然の魅力をその折々に伝えることで、大切に思う仲間を増やすこと。 | | |
| 目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・新たなメンバーが加わって、スタッフとして対応できるようになること。 ・新たなテーマに取り組み、IPの技術をひとつでもあげること。 | | |
| 内容 | 午前中 2 時間程度のルートで、テーマに沿った解説を行いながら、散策する。 スタッフは 2～3 名。 | | |
| 日時 | 毎月第 1 水曜 10:00～12:00 | | |
| 場所 | にいほる里山交流センター集合 | | |
| 年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール) | 毎月第 1 水曜 ※8 月、1 月は休み | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 200 円 | | |
| 収入見込額(a) | にいほる里山交流センター事業への協力のため、NORA の事業収入はなし。 (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入) | | |
| 支出見込額(b) | (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入) | | |
| 収支見込額(a-b) | | | |
| 備考 (他団体との連携等を適 当に記入) | 新治里山「わ」を広げる会／新治里山公園運営プロジェクトへの協力 | | |
| 作成年月日 | 2019 年 8 月 10 日 | 作成者名 | 吉武美保子 |

第4号議案 第20期（2019年7月～2020年6月）予算

[収入]

| 科目 | 第18期決算額 | 第19期予算額 | 第19期決算額 | 第20期予算額 | 備考 |
|------------|------------|------------|------------|------------|--|
| 会費 | 335,000 | 370,000 | 303,000 | 440,000 | 運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*80+賛助会員@10,000*2 |
| 寄付金 | 1,645,759 | 1,100,000 | 1,499,369 | 1,250,000 | かんぼ生保1,000千円、東京ガス200千円、個人寄付 |
| 助成金 | 1,919,818 | 2,050,000 | 1,250,000 | 600,000 | 緑の募金450千円、よこはま夢ファンド |
| 自主事業収入 | 2,423,979 | 2,250,000 | 2,945,600 | 2,900,000 | 竹細工1,000千円、はまどま1,500千円（野菜市300千円）、各事業参加費等 |
| 販売収入 | 65,976 | 80,000 | 446,562 | 60,000 | チェーンソー関連消耗品販売 |
| 受託事業収入 | 3,950,128 | 3,800,000 | 5,504,092 | 6,600,000 | 長浜トボ、ピボトブ 指導千円、森ボラ社会実験千円、GGift600千円 |
| 雑収入 | 398,993 | 350,000 | 345,692 | 150,000 | 環境教育出前講座120千円、講師謝金等 |
| 当期収入合計 (A) | 10,739,653 | 10,000,000 | 12,294,315 | 12,000,000 | |

[支出]

| 科目 | 第18期決算額 | 第19期予算額 | 第19期決算額 | 第20期予算額 | 備考 | |
|----------------|--------------|-----------|------------|------------|--------------------|---------------------|
| 事業人件費 | 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 研究員給料 |
| | 臨時雇賃金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 法定福利費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 社会保険料、労災保険料 |
| 事業経費 | 事業委託費 | 3,890,959 | 3,800,000 | 4,079,200 | 4,800,000 | 受託事業、山仕事、デザイン料、外注費 |
| | 諸謝金 | 1,116,548 | 1,200,000 | 1,987,460 | 2,250,000 | 竹細工、講座講師謝礼 |
| | 印刷製本費 | 85,321 | 50,000 | 62,982 | 70,000 | 報告書印刷、コピー代 |
| | 会議費 | 6,000 | 10,000 | 5,575 | 10,000 | 会議室料、茶代等 |
| | 旅費交通費 | 48,710 | 60,000 | 104,920 | 100,000 | 講師旅費 |
| | 通信運搬費 | 9,038 | 10,000 | 8,290 | 50,000 | 郵送料、宅急便、備品送料 |
| | 消耗品費 | 2,052,198 | 2,000,000 | 1,985,401 | 800,000 | 山仕事道具、工具、はまどま事業経費 |
| | 器具備品費 | 0 | 550,000 | 736,258 | 0 | |
| | 修繕費 | 111,659 | 0 | 597,020 | 200,000 | |
| | 賃借料 | 134,648 | 200,000 | 154,562 | 200,000 | レンタカー、チャーター、会場借上 |
| | 減価償却費 | 116,157 | 150,000 | 95,999 | 90,000 | 簡易製材機、クローラー式運搬車 |
| | 保険料 | 89,525 | 100,000 | 120,834 | 120,000 | グリーンボランティア保険、イベント保険 |
| | 諸会費 | 0 | 0 | 5,200 | 5,000 | |
| | 調査研究費 | 0 | 40,000 | 26,000 | 40,000 | 資料購入、研修会参加 |
| | 支払手数料 | 11,306 | 10,000 | 16,431 | 15,000 | |
| | 広告宣伝費 | 34,720 | 30,000 | 5,400 | 50,000 | |
| 販売仕入 | 49,842 | 60,000 | 347,681 | 50,000 | チェーンソー関連消耗品仕入 | |
| 雑費 | 0 | 10,000 | 28,500 | 20,000 | | |
| 管理費 | 印刷製本費 | 0 | 0 | 17,692 | 5,000 | |
| | 業務委託費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 経理・決算・納税委託 |
| | 通信運搬費 | 94,431 | 100,000 | 144,367 | 100,000 | 電話・通信、ネット使用料 |
| | 消耗品費 | 65,172 | 50,000 | 31,034 | 30,000 | 会計ソフト等 |
| | 水道光熱費 | 139,745 | 120,000 | 144,270 | 150,000 | |
| | 地代家賃 | 972,000 | 972,000 | 972,000 | 972,000 | 家賃@81千円*12 |
| | 接待交際費 | 0 | 15,000 | 0 | 0 | |
| | 諸会費 | 22,604 | 20,000 | 28,210 | 30,000 | 町内会費、ネットワーク団体会費 |
| | 租税公課 | 200 | 5,000 | 1,700 | 5,000 | |
| 支払手数料 | 31,126 | 33,000 | 30,669 | 33,000 | ネットバンキング25千円、振込手数料 | |
| 雑費 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | | |
| 経常外 | 固定資産除却損 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | 74,500 | 74,500 | 74,500 | |
| 当期支出合計 (B) | 9,256,409 | 9,774,500 | 11,912,155 | 10,374,500 | | |
| 当期収支差額 (A)-(B) | 1,483,244 | 225,500 | 382,160 | 1,625,500 | | |

第5号議案 役員選任

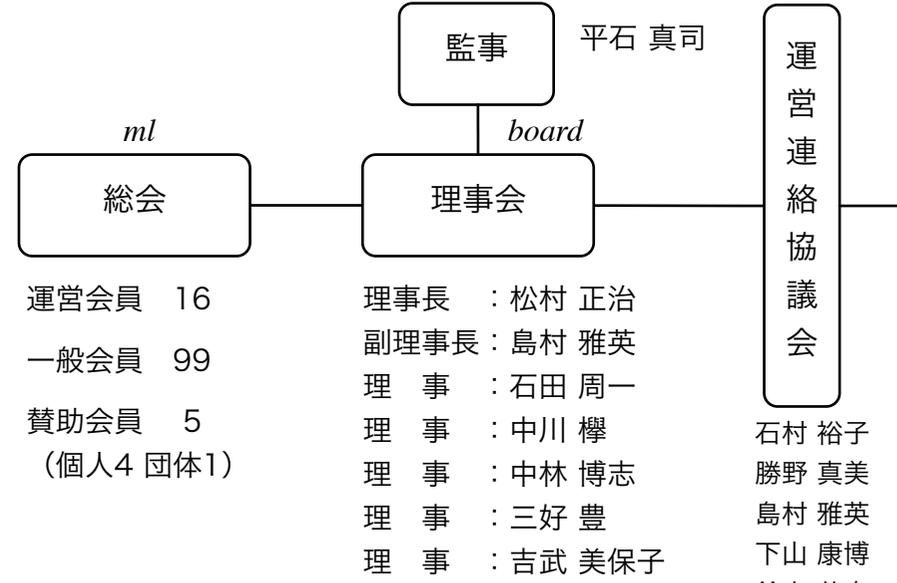
下表のとおり、すべての理事・監事を再任する。なお、役員の内任は2年である。

| | | |
|----|--------|--------------------------|
| 理事 | 石田 周一 | 社会福祉法人同愛会 |
| 理事 | 島村 雅英 | 横浜エコアップ研究所 |
| 理事 | 中川 樗 | 中学校理科教員 |
| 理事 | 中林 博志 | 社会福祉法人あおぞら 理事 |
| 理事 | 松村 正治 | 大学教員、たま里山研究室 |
| 理事 | 三好 豊 | 神奈川・緑の劇場 代表 |
| 理事 | 吉武 美保子 | 新治里山「わ」を広げる会 |
| 監事 | 平石 真司 | 特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ 理事長 |

特定非営利活動法人
よこはま里山研究所～NORA
www.nora-yokohama.org
(2000年4月設立 2001年5月9日法人登記)

里山とかかわる
暮らしを

(2019.8.24現在)



- 支社** たま里山研究室 [TAMA] (松村)
- 地方支部** 佐渡支部 (十文字) 大崎支部 (鈴木慈子)
高野支部 (山田) ↔富貴・筒香ファンクラブ

NORA人の仕事 まさみ ふぁくとりい (勝野) 37 (鈴木美奈)
神奈川・緑の劇場 (三好) 山惣 (下山)
横浜エコアップ研究所 (島村)

NORAの仲間たち 森のライフスタイル研究所 森と踊る
八王子協同エネルギー FIO 畑会
あした農場 おおるりファーム
幸陽園農耕班 はやし農園 森ノオト
日本の竹ファンクラブ よこはまかわを考える会
山崎・谷戸の会 ごかんたいそう 原っぱ大学
里山倶楽部 日本環境保全ボランティアネットワーク

よこはま里山レンジャーズ協力団体 (★)
恩田の谷戸ファンクラブ [青葉区]
新治里山「わ」を広げる会 [緑区]
桜ヶ丘・水辺のある森再生PJ [保土ヶ谷区]
瀬上さとやまのりの会 [栄区]

里山コネクトin多摩・神奈川 satoyama-connect.info ↔ a-con

